



拝啓、
小沢一郎様

ネット市民の会

2009年4月24日

はじめに

この総頁数 101 ページの小沢一郎激励書簡集は、インターネット掲示板「平成海援隊」および「TOKYO CALLING 行動へ向けての準備室」において、2009 年 4 月 19 日深夜から呼びかけがはじまり 24 日午前中まで、5 日間のうち集まった、民主党代表小沢一郎への手紙 76 通です。

掲示板「平成海援隊」は、有志による政治談話室として立てられたものですが、小沢一郎秘書逮捕事件勃発以来、掲示板の訪問者が激増し、新規に書き込みをする者がどんどん増え、議論が白熱してゆきました。

必ずしも小沢支持者、民主党支持者に限りません。「攻撃されているのは小沢氏ではない。歴史上初めてまっとうな手段で民衆の手による大変革が実現する、その最後の段階で仕掛けられた、権力による民衆の希望への攻撃なのです」（どなんとう）が端的に示していますように、〈民衆の希望への攻撃〉と受け止めたいいわゆる無党派層のなかから立ち上がった声でもありました。

そして、こうしてはいられない、何か自分たちにできることはないか、せめて集まりやすい東京でなら何かできるのではないかと手探りするような気持で、有志により掲示板「TOKYO CALLING 行動へ向けての準備室」が立てられました。

呼びかけは「今までとは異なったネットというメディアで、今までとは異なった層の人々による新しい政治意識が大きくなうねりを見せていること。それら多くの人々が日本の 民主主義の危機を感じ、ほかの誰でもなく小沢の民主党に大きな期待を寄せていること、これらのことをぜひ知ってもらいたいと思います」というもので始まりました。

掲示板に書き込むのは気軽にできても、いざ手紙を書くという段になると、誰でも気が臆するものです。掲示板に公開手紙を寄せてもらう方法と、非公開希望の方にはメールアドレスに送っていただくようにしました。ここには日頃から掲示板に書き込みをしている方ばかりでなく、むしろ初めて投稿するという方々の胸をうつ御手紙がたくさんあります。

国民主権と言われますが、その権限委譲をしている政治家に向かって、一人一人の要望を主体的に伝えるということ、そういう意識の持ち方はこれまでわたしたち一般人にはなかなかできませんでした。そういう日本人らしい引込み思案をのりこえての、これらの手紙を、どうぞ一通一通お読みくだされば、幸甚に存じます。

なお、公開するネットという性質上、署名はおおむねハンドルネームを使用しています。けっしてふざけたものではありませんので、ご了承ください。また、重複投稿のないことも、おわかりいただけたと思います。

(2009 年 4 月 24 日 呼びかけ人 まりあ)

謹啓、小沢一郎様

ゆりあな@TokyoCalling (2009年4月23日)

初めてお便りを差し上げます。

政治家の方にお手紙を書くのは初めてのことです。

私は長い間、政治というものに関心が持てなくなっていました。

どのような政治が行なわれるかによって、私たちの生活が左右され、人生の選択肢や幸福度までが変わってくるということをよく知りながら、日本の政治家には何を期待しても無駄だ、という諦念にとりつかれていたからに他なりません。

いくら一生懸命に政治ニュースを見たとしても、それは永田町という隔てられた壁の向こうでおこなわれている劇のように見える。

新聞やテレビは、政局、政争、政治家のスキャンダルといったものを拡大し、最重要事のように報道します。ただの観客として、ドラマの展開を追うのは時には楽しいことかも知れませんが、限りある人生の日々を送る『わたし』、一人一人の『わたしたち』にとっては、こちらを思いやってくれない政治劇にいつまでもつきあっているわけにはいきません。

公園を歩くと、集めたアルミ缶の大袋の脇で休んでいるホームレスのおじさんがいます。

朝早く道を歩いていると、ビルの脇で眠っている、まるでガンジーのような風貌の、眼鏡をかけた痩せたおじいさんを踏みつけそうになります。

身も凍りそうな寒い夜、持ちきれないほどの荷を持ったおばあさんが、建物の陰にうずくまっています。私は急いで家に帰り、食べ物や古い毛布を探し出して、おばあさんのもとに届けます。そして愕然としながら、自問自答するのです。

ここは、本当に日本なのだろうか？

ここは本当に、繁栄を謳歌したはずの東京なのだろうか？

夜空を見上げれば、遠くには繁栄の（虚飾の）象徴であるかのような高層ビルが、まるでバベルの塔のように、オレンジ色の光を放射しながら建っています。

そして、私が生まれて以来、道端に人が倒れているのはどこか遠い国のお話、道で死にゆく人が珍しくもない、貧しい国の物語として聞いてきた話が、いま現実に、目の前に在ることに驚愕し、立ちすくむのです。

この十年、二十年のあいだにこの国に起こったこと。一体何が起きたのでしょうか。どんな政治が行なわれてきたのでしょうか。

一言ではとても言えないようなことが、沢山起きたのでしょうか。

しかし、いま私が一つだけ確信するのは、私たち国民が投票によって政治に参加できると教えられてきたこと、一票の行使によって意思表示ができると信じさせられてきたこと、それによって政権交代も可能であり、それが民主主義という名の比較的公平な制度であるというのは、実は看板だけの嘘だった、ということです。

私はもっと早く気づくべきでした。しかし、今回の大久保氏の逮捕という事件が起きるまで、気づくことができませんでした。

戦後六十数年の大半を政権与党として君臨してきた自民党に変わり、ついに民主党が政権を取って小沢さんが総理大臣になる可能性が出てきたこの時期に、これまでは記載の修正ですんできた違反で小沢さんが逮捕されたこと。

与党の人々は同じようなことをしていながら、まだ誰の秘書も捕まっていないこと。

マスコミが一斉にラッパを吹き鳴らすように、「小沢さんは代表を辞任しろ」というヒステリックな主張をし続けたこと。

小沢さんのイメージをわざと歪めるような根拠の乏しい噂が報道され、否定されて撤回されたこと。

大久保さんが「嘘の記載を認めた」という報道が流され、弁護人が否定しているにも関わらず、弁護人には反論の場がほとんど与えられないこと。

マスコミというマスコミがこぞって、小沢さんを大悪人に仕立てあげようとしていること。

あまりの大合唱に、私は翼賛報道というものはこういうものかと、冷水を浴びる思いに駆られました。新聞もテレビも信じられないのですから、頼れるのは自分の目と頭と本と、インターネットしかなくなりました。

そして、やっとわかりました。日本という国が民主主義国家であるというのはほとんど嘘であって、国民が「もういいかげん、民主党に交代してもらおう」と思っても、それを許さない力が大きく働いているのだということ。

その力を目の当たりにしたことで、私はマスコミにノーを言い、小沢さんを応援せずにはいられなくなりました。こんな状況に唯々諾々と従い、飲まれてしまって良いわけがない。ここでノーを言わなければ、もっともっと悪いことが起きる。

小沢さん、大丈夫です！気がついている国民は増えていますよ。
私たちができるかぎりの方法で、伝えていきます。

それから、いま大変ご苦労なさっている大久保さん！
人生で一番苦しい状況にあると思いますが、どうぞ苦難を乗り越えて下さい。
心より、エールをお送り致します。 謹白

TOKYO CALLING BBS

<http://www2.realint.com/cgi-bin/tbbs.cgi?Tcalling0904>

拝啓、小沢一郎様

まりあ(2009年4月19日)

わたしは、三月三日の小沢秘書逮捕問題が起きるまで、小沢一郎にも民主党にも何の関心もありませんでした。

むしろ、民主党は自民党と似た政党という印象しかもっておらず、たとえば七生養護学校を「過激な性教育」として介入したのが土屋という民主党都会議員であったことを強く記憶しておりました。現場の苦勞を見ないばかりか、親の話さえ聞こうとしない、ひどい議員が民主党にはいるものだと思っておりました。(わたしは以前そういう関係の職についていたことがあり、現場の状況がよくわかるのです)。

ところが、このたび、この問題が起きて、新聞記事とネットの記事とを比較するようになり、新聞記事のあまりにも偏向しているのと、明らかに世論誘導しようという意図の見えることに驚きました。

テレビ報道関係はもちろんですが、いちばんまともだと信じて15年間もとり続けていたT新聞にさえ、客観的視点というものがありません。現状分析もありません。そこにこめられている意図はただ一つ「小沢一郎辞任」であることは明らかでした。

こんなことがまかりとおるなんて……。強い憤りを覚え、何度、新聞社に抗議の電話やFAXを送ったことか。ついに、この三月末で講読を止めました。

メディアを資料にしてわたしたちは物事を判断するしかないわけですが、わたしたちには、もう判断の自由がなくなった。言論における選択の自由はなくなった。思うとおりに「小沢辞任」になれば、政権交代してもしなくても、恐ろしいほどの情報統制の時代がやってくる。そう直観しています。

わたしたちの抵抗はただ一つ、権力濫用をするものたちの思いどおりに「小沢辞任」をさせないこと。わたしたちの言論の自由と判断選択の自由をまもること。すでに「小沢一郎」はわたしたちの民主主義と自由を護るための象徴となってしまったのです。

テレビを見ないわたしは、大久保秘書逮捕直後の記者会見を民主党公式サイトのビデオ配信で見たのですが、三十分間ほどの一部始終を見、またその後の何回かの小沢一郎の記者会見も見ました。そして、小沢一郎に対するこれまでの認識をすっかり改めました。

小沢さんの記者会見の態度は、とても発言にコントロールが効いていて立派です。風貌というものは誤魔化せないものでして、小沢さんの風貌からは、真面目に誠実に政治をなさっていることが伝わってきます。野党で荒波をくぐって来られて、磨かれたのに違いなはいとはばかりながら拝察いたします。どうぞ、小沢さんにはこのまますじをまっすぐに通していただきたい。

このたび、わたしたちは地元の民主党候補者や議員の選挙事務所に電話をかけたり、メールを出したりしてみました。その反応から、民主党議員の方々には、もっともっと変わっていただかなければならないと強く思います。

わたしたちが希望をもって生き得るために、わたしたちの次の世代が夢をもって生き得るために、どうか力をお尽しくくださいますよう、御願い申し上げます。わたしたちがついています。

最後に、ネットの掲示板に書き込みましたわたしの意見を、重複にはなりますが、ここに引用させていただきます。このような意見を、ネットでかわしあっているのだという参考になれば幸いです。

.....

Re: 「政権交代」は必須、小沢民主党でこそ・・・

投稿者---まりあ(2009/04/16 23:42:58)

ooさん、こんにちは。小林節さんの文章拝読。同感。

政権交代は、絶対に必要。

これは必須。多くのひとびとが感じているように。

小沢秘書逮捕問題が起きるまえまでは、別に小沢民主党である必要はなかったのです、わたしにとっては。政権交代さえすればよかった。

けれど、検察の権力濫用と何よりマスコミのしつこい大大大的小沢辞任アピール、これによって、絶対、小沢の民主党で政権交代をしてもらわなければならなくなりました。

「小沢」を信頼するとか、小沢ファンとか、何とか、そういう問題ではありません。海援隊に三月頃書き込みましたが、「小沢」は民主主義攻撃の象徴になってしまったのです。さ

せられてしまった、といってもいいかもしれません。

姑息に代表を替えて政権交代できたとして、いちおう民主党の勝利にはなるかも知れないが、それはわたしたち国民の側にとっては敗北にほかなりません。これは、わたしたちがマスメディアに対して何の抵抗もできないことを思い知らされる機会となる。

しかし、ここでふんばって「小沢」で政権交代できれば、これは民主党の勝利でもあろうが、わたしたち国民の側の勝利でもあるのです。彼が首相になったとたん、とんでもない政策を出したとしても、そのときわたしたちは声をもう一度あげることができます。

検察やマスコミの歪んだ権力を、象徴としての「小沢」とともにわたしたち国民の力でしりぞけること、それだけが、わたしたちの未来を今より希望あるものにすることができると思うのです。

.....

まりあ

小沢代表への手紙

ニライカナイ (2009年4月19日)

前略

暴走する国家に、萎えるか抗うか

これは作家辺見庸氏の著書『いま抗暴の時に』の帯に書かれた言葉です。

暴走する国家は次に私たち国民に牙を剥くやもしれません。

私たちの国の民主主義を守るために、国民主権を守るために。

代表の一層のご活躍と、政権交代をささやかながらネット上より応援させていただきます。

リベラル政治グループ平成海援隊主宰者

ニライカナイ拝

平成海援隊

http://www.geocities.jp/liberal_kaiantai/

平成海援隊 BBS

<http://www2.realint.com/cgi-bin/tbbs.cgi?Hkaiantai>

小沢一郎様

三顧の礼（2009年4月20日）

数年前に「小沢主義」を読ませて頂き、多くの内容で感銘を受けました。それ以来、小沢さんに日本のかじ取りをして頂きたいと願っている者です。また、先日はマケイン議員との会談において、「武力で政府は倒せても、民を治めることはできない」というご発言に改めて、日本を任せたいと思っています。

今回の大久保秘書逮捕劇騒動では、私たちには想像できない以上のご苦勞をされているかと思いますが、私自身、腹立たしいという感情以上に、現在の日本の民主主義とは何なのか？までを考えさせられる機会となってしまいました。こんな国の国民であることが嫌になってしまうということは、悲しいことです。

総選挙までは、まだまだいろいろな妨害行為が予想できますが、是非とも、政権交代を果たしていただきたく、よろしくお願いします。もちろん、代表として総選挙を戦っていただきたいと思っています。応援してます！

追伸です。

NHKのニュースと新聞が情報源である年老いた母は、今回の騒動で、自民支持になりましたが、なんとか私の知り得る情報を説明し、現在は、再び民主支持に戻っております。私を含めて家族の5票は、全員民主支持であることをお伝えしておきます。

ネット投稿上の氏名で申し訳ありません。

小沢さんに首相を務めていただきたいと強く思っている、「三顧の礼」と申します。

拝啓、小沢一郎 様

岡田正子（2009年4月21日）

私は、今年還暦を迎えました一主婦です。

小泉政権以降、世の中の流れがおかしいと感じてはいましたが、今回の事件を契機にいろんな事が見えてきました。

小沢一郎を排除したい勢力は 余りにもあからさまにやりすぎる事で、皮肉にも私たち国民の目を覚まさせる事になったようです。

モラルの崩壊・閉塞感・将来不安・格差社会・教育現場の墮落・・・等々 数え上げればきりのない今の日本の現状は

不平不満を唱えるだけでせいぜい選挙に行くという事だけで、積極的に政治に関与してこなかった

私たち世代の責任でも有ると言えるでしょう。

次の選挙は政権交代という事だけでなく、我々国民が試されているのだらうと思います。

本当の意味での<民主主義>を、私たち一人一人の手で掴み取らねば、真の改革とはならないでしょう。

<国民が主権者>そのためには、ぜひとも小沢代表の下での政権交代が必要です。

小沢代表でなくては、政権交代後の難事に立ち向かう事はできないと考えます。

どうか、私たち国民のために、次世代を担う若い人達の未来に希望を持たせてください。

どうか、御身体を大切に頑張ってください。

敬具

東京在住 岡田 正子

小沢代表の手による政権交代の実現こそ、唯一政治への希望をつなぎとめる途です

どなんとぅ(2009年4月22日)

<http://donannto.air-nifty.com/blog/>

前略 小沢一郎代表

どなんとぅと申します。

このどんよりと重く淀んだ閉塞感の中で日々暮らしてゆかねばならぬ市井の一市民として、私の思いの丈をお伝えしたく、手紙を認めさせていただきます。

やがて還暦を迎えようかという今日に至るまで、政治（特に国政）に対して期待すべき何物も持たず、ただ冷めた目でその動きをよその世界のものと感じながら眺めるだけでした。

市井の片隅に生きる一市民として私がこれまで何とか生き延びてこられたのは、生活の必要以上に、俗事との関わりを控えるような生き方をしたおかげで身についた（失わずにすんだ）動物が等しく持ち合わせる生きるための勘のようなものに支えられてのこととっております。

そんな生き方に軌道修正の必要を感じたのは、小泉政権の誕生によって危険信号が点滅しました。動物的な本能にもものすごい響きで警鐘がなり続けたからです。

何とか成長してくれたわが子が社会に出る年齢を控え、「この子ややがて迎えるであろう孫たちに、

絶望的な未来しか用意してやれずに、
果たして死を迎える日に安心できるだろうか？
との思いが沸々と湧き上がってきました。

しかしだからといって、なんらなすすべもなく、
いたずらに焦燥感に駆られながら日々送っておりました。

一方で、
「小泉という、異常な精神構造を持つとは言え一政治家に過ぎぬものに、
これほど急激に万人を絶望の淵に落とすことが可能であるなら、
逆に真に民衆を絶望から救い上げようという政治家が存在するなら、
彼に存分に力を振るってもらうことにより、
少しでも未来に希望が持てる状況を作り出せるのかもしれない」
という思いを抱くようにもなりました。

そんな中で「小沢一郎」という一人の政治家の名前が
の頭の中で点滅していました。

具体的なエピソードは端折らせて頂きますが、
巷間語られる

「こわもて」

「金権体質」

「側近にも信頼されない」等々といった負のイメージと、
私同様の一市民が、

心から小沢一郎に向ける笑顔、

底抜けの信頼感とのギャップに疑問を感じていたところ、
一冊の本が氷解させてくれました。

平野貞夫氏の著作です。

「政治家としての実力」

=小泉的なもの、

ひいては百年あまりに亘って強固に築き上げられてきた、

閉塞感の最大の原因たる官僚支配の構図を打ち砕いてくれるであろう信頼感

「人間的なシンパシー」

=私の喜びを心からともに喜び、

私の痛み・苦しみをともに悩んでくれる

これを二つながらに備えた存在を、寡聞にして他に知りません。

「一個人としてどうあがこうと、その築ける未来には限りがある。
その先を切り開くのは政治の力、
それを託すのは小沢一郎を置いて他にない」

これが私の得た結論でした。

何の力もない、しかも選挙区民ですらない私のできることはまったくありません。
ただ、「救い手たる小沢一郎に
もしもその行く手をさえぎる何者かが現れたなら、
そのときこそ、可能な限りの力をその障害除去のために使おう」
そう決意するばかりでした。

3月3日の事件が、まさにその時でした。

私に可能であった唯一の手段

「悲痛な一市民の叫びを、
小沢代表を守り支えるべき民主党の諸氏に一人でも多く届ける」
このことを実行し、
またその叫びを多くの名もなき市民と連帯するために公開する。

現在、4月21日の代表記者会見の様子を見ても元気な様子が伺われ、
また、「政権交代」にかける真摯な思いが痛いほど伝わってまいりました。

今後も小沢代表と心を一にして、
「政権交代」を目指してゆけばよいのだと改めて確信した次第です。

ただ、この段階で私が最も恐れるのは、
なりふりかまわなくなった自公権力側が
追い詰められた権力の取る最後の手段、
暴力による政権篡奪を企てはしないかということです。

代表個人の肉体に対する攻撃、
田母神前海自幕僚長が示唆したクーデター、

さらには周辺諸国へ事故・偶然を装って仕掛ける戦争の懸念さえ可能性ありと感じています。

健康に対する身長にも慎重すぎるくらいの留意とともに、
万が一の上記懸念についても、
そのわずかな兆候も未然に摘み取る徹底した警戒をお願いしたいと思います。

激励と期待感表明のための所感とするつもりでしたが、
なんとも暗い話で締めくくることになり、申し訳ございません。

民衆こそって闇夜の曙光を感じ取れる日まで、
大切なお体ゆえ精精ご自愛くださいませ。

草々頓首

拝啓、小沢一郎様

匿名希望（2009年4月22日）

そもそも、

植草先生のカミソリのような経済関連のコメントに唸っていた10年前。こんなに切れる人は滅多におらん、と感心していたところ、突然のノゾキ？での逮捕に、当時すでに、これはヤラレタ！な、と感じておりました。

経営者のはしくれとして、自殺も考えるほどの理不尽な体験もさせて頂き、植草さんのお気持ちにシンパシーを感じるものです。

35年前に、デンマークに2年ほどおまして、学問（都市計画）と仕事（インテリアデザイン）をしていました。

自分の原点はいまでも、彼の地にあります。

ご想像に難くなく、日本に帰ってからの結婚、子産み、子育て、家事、仕事、女性の生きるにかくも、厳しく、冷たい国家に辟易しながら、しかし、私はこの国が好きで、生きてまいりました。

おかげさまで、こんにちまで生き延びましたが（笑）最近では、感情の琴線に触れた出来事はあの、西松でした。

皆様の話題には上っていないけれど

西松の外為法違反のニュースの時から、ジワジワと、民主党に対してのネガティブキャンペーンが、始まるのではないかと思っていたので、3月3日にはそれ来た！と思ったことです。

民主党がおとなしいとか、何してるかとの皆様のご意見、ごもっともですが私は、そんな意見が出るくらい、民主党自身は承知の上、なのではないかと思えます。

出来るなら、（主張でも、キャンペーンでもなんでも）しておられるはず。

なぜ、しないか。

出来ない理由があるから、なのではないかと思っています。

まず、今一番大事なものは、命です。
まさに、ぬちどうたから です。
それほど、事態は緊迫していると受け止めております。

どうかどうか、細心の注意を持って、行動してください。
老婆心ながら、本当に心配します。
どうかどうか、ご無事に、本懐を遂げられますこと、
お祈りしております。

民主党が政権をとっても、この日本では、女性関連政策にあまり進歩はないでしょう。(笑)
しかし、全体のデモクラティックな底上げは可能だと思っています。

蒼い星の、陸の部分で、しばし生きる事をともにする、という運命にめぐり合わせたので
す。お互い、いたわりあい、愛し合い、暮らして行きたいと思えます。

あなたに、しばらく日本の政治をお願いしたいと思っています。
お体に気をつけられて、どうか、ご無事で、
頑張ってください。一市民として応援します。

兵庫のおばさんより。
みもとに、お届けくださいますよう。
ごめんくださいませ。

拝啓、小沢一郎様

[「NHK」の「国会中継」を見たい人](#)(2009年4月20日)

「与党」の提出する『補正予算案』は「3段か4段」か知りませんが、
『某国』の発射した「飛翔物体」みたいなもので、単年度だけの
『打ち上げ花火』と同じで、「経済効果」は期待できません。

「自公政権」の対案の「民主党案」は『持続可能な経済効果』が期待でき、「説得力」があります。

『国民』に対して、『辻説法』みたいな感じで、『小沢代表』が「口火」を切り、

『全民主党候補者』は語って下さい。

宜しく御願ひ申し上げます。 敬具

拝啓、小沢一郎様

[グリコ](#)(2009年4月21日)

小沢一郎さま

私は最近ようやく小沢代表がこれまで苦勞して歩いてこられた道について
少しだけ理解できるようになり、今は心から応援しています
(といたしますか我々を救っていただきたい
あきれかえる誹謗中傷の中でどんなにお疲れかと思いますが
それでもどうぞがんばっていただきたいと身勝手に願っております)
これまで政治家の方々がどんなに努力されていても
文句はいえども支援する行動などなにもしてこなかった
せいぜいが投票行動のみ
そんなわれわれの無関心が今の政治状況を作り出した一番の原因だと反省しています

その反省をふまえながら 今私たちが直面している

“危機でありながら もしかしたら
将来を良い方向へと転換できるかも知れない重要な転機”に

自分なりにできる行動をなんとか探っていこうと思っています

その一つの身近な人々への働きかけの一例を少し書かせていただきます

2年ほど前から始めているささやかなブログに
“政権交代が必要です!”と題して今回の事態について
私なりの考えを小連載の形で書き始めています

時々メールを交換している学生時代の友人が読んで感想を寄せてくれました

“民主党もいいいけれど今の国会を見ていたらまるで不毛な政局争いばかりで
どっちもどっちとしか思えない・・・ アメリカみたいに民主党と共和党が
しっかり政策論争で争うのとは大違い・・・”と

その返事として書いた拙い文の一部をここに続けさせていただきます

〇〇さん〇〇さん：ブログの感想ありがとうございました
それこそこの話になりますととめどもなくなりますが・・・

とにかくこの今の日本のお寒い状態を変えるには
”政権交代”がなにより必要と考えています
民主党と自民党の政策の違い等の問題ではなく
(もちろん重大な相違がありますが・・・)
長く続きすぎて腐敗している現政権と
それを“お飾り”として実権を握り続け
利権と因習の無駄ばかりの官僚組織を刷新すること

アメリカのように政策論争がきちんと行われるには
(きちんと本当に行われているかは疑義のあるところですが)
二大政党制が根付いて
常に”政権交代”が行われ得るといふ政治状況下で
緊張感のある政策論争が行われる環境を作ること
そういう真の”民主主義”に踏み出す第一歩が
戦後初めて実現するかも知れないと期待している
“本格的な政権交代”なのだと考えています

そういう考えを深く持って失敗も繰り返しながらも地道に行動してきたのが
小沢一郎という人だということ最近私は学びました
確かにアピール力や演説力には欠ける人物かも知れませんが
しかし”アピール力だけの人物(=小泉)に踊らされ続けるような愚は
繰り返してはならないと思っています

そして”本格的な政権交代をやり遂げられては困る”と思っている
”現在の利権勢力”にマスコミもが一体となって小沢代表を攻撃している
その構図が露骨すぎるほど見えています

”不当な検察の捜査逮捕起訴”によって
一般国民が多く願っていた”政権交代へ”という政治の流れが

恣意的に変えられるというような事態は
単に小沢代表への攻撃というだけではなく、私たち自身への攻撃であり
”社会的公正さの担保される社会”を守るべく
できることをするのが今の私の義務だと考えています

(以上 返信の一部ですが
友人を説得するにはまず“アジ演説調”にならないようにしなければと反省中です)

まだまだ人に働きかけるには学びの足りない私ですが
小沢代表の姿勢をみならい地道に努力を続けたいと思っています

小沢代表
どうぞご健康にはくれぐれもご留意くださいませ
それが一番の私の願いです

拝啓、小沢一郎様

[高木まさこ](#) (2009年4月22日)

小沢一郎様

今日 PC で記者会見を拝見しました。

3月3日以来、60数年の人生で感じた事のない憤怒不信を持って、小沢様を貶める新聞、テレビ報道を見ております。世の物事が、真実や公平からのみ優先順位が決まっていくとは思っていませんが、この変わり様は何でしょうか。「確かに捜査には問題がある」といいながら辞任すべきという方向に世論を誘導し、あれほど問題があった筈の政府与党に追従するかの発言ばかりとなりました。明らかに今までと論調が違い、腰の引けた意見を言っている方が沢山見受けられます。どこかからの圧力のせいかと思わずにはられません。この度の件で、自由に発言し行動できる世の中はいかに大切に尊い事か、又、それは天から降ってくるものではないとしみじみ思いました。記者会見を拝見し、いつもの小沢様で安心しました。

口下手などではなく必要にして充分です。平易な言葉で簡単明瞭で誰の心にも届きます。

真実の言葉がどうか沢山の人の届きますよう、

お身体を大切になさりながら活動をお続けください。

心から応援させていただきます。

拝啓、小沢一郎様

ローリエ(2009年4月22日)

小沢一郎様、代表を辞めないでください！

小沢さんが代表で、来るべき総選挙に勝利し、日本を真の民主主義社会に変えるべく、各方面に大鉦を振るう陣頭指揮を執ってください。

3月3日から私は、それまでの相対的な意味の民主党支持者から、確信を持って小沢代表の民主党を断固支持する・・・に変わりました。

検察とともに真実を伝えず、いかにも中立、公正、清潔？を装いながら虚偽の報道を繰り返す、朝日新聞（親の代から、60年以上にわたって購読してきた）をやめました。かわりに、ネットを通じて、様々な情報、意見を聞きながら現在起こっていることの本質を理解しようとしています。

思えば、今は、まさに明治維新に匹敵する変革が起ころうとしているのかも知れません。

このときに、私たちは「小沢一郎」氏をリーダーとして迎えることが出来た幸運！

どうか、様々な意味でご健闘、ご自愛ください。

拝啓、小沢一郎様

[風のT](#)(2009 月 4 月 22 日)

小沢代表、地方行脚の再開、ご苦労様です。

政権与党を裏から表から援護する地検特捜部の暴挙以来、「壁の側に立つマスコミ」に操作・誘導された「普通の国民」。この事件の真実を広く理解させることが先決です。そして、今ここに至っては、それなくしては選挙に勝利する方法はないと思います。それを全ての民主党員に強く望む。多くの国民が政権交代を期待しています。その可能性が極めて高くなったからこそその前述の暴挙。惑わされ、騙されそうな人々の目を覚まさせ、勝利を得るため頑張ってください。小沢代表を応援します。政権交代を実現出来るのは小沢代表しかいません。健康に充分気をつけてください。

拝啓、小沢一郎様

なんとかならんか(2009年4月21日)

拝啓

小沢一郎様

我々、白川元議員に導かれて集まった憂国の国民約1万人は、小沢代表が代表を辞められることを一番心配しています。お身体に気をつけていただき最後まで闘っていただけますようお願いいたします。

なんとかならんか

拝啓、小沢一郎様

案山子(2009年4月21日)

人は危機に際してほんとうに大事なものが見えてくるのですね。

3月3日秘書逮捕の日に目が覚めました。
覚めた目でみると、どの局、どの新聞も洗脳されたゾンビのように見えました。
自公の政策を伝える女性アナウンサーの声が妙に明るく、まるで
北朝鮮を思わせるような瞬間もありました。

小沢代表の説明責任が果たされてないといいますが、
あんなにきちんと明解に、堂々と説明されたのに！
どこがわからないのでしょうか。

謝罪がないといいますが、なぜ、謝罪しなければならないのでしょうか？

ある日突然、検察の男たちがやってきて、いきなり問答無用で
とうちゃんを連れ去ってしまう。。
そんな国にしないためにも
絶対にやめないでください。
小沢代表がいるから、民主党にまかせてもいい、と思ったのです。

小沢代表、がんばれ！！

【舞台裏】

.....

こんにちは。みなさまの行動力に感服しています。
枯れ木も山のにぎわいと思って、ヘタクソな文章を
一所懸命に書きました。励ましになってるでしょうか。
どうぞお手紙の中に加えてくださいませ～。

拝啓、小沢一郎様

ひすい(2009年4月21日)

拝啓、小沢一郎先生、お元気ですか？

今日もとてもお忙しく過ごされたことと存じます。

政権奪取が現実となるにつれ、既得権益集団からの激しいゆさぶりが続いております。

日本は自由、平和、平等が約束された国だと、つい最近まで信じていました。

日本は出る釘はうつ、うちのめす国だとわかりました。

小沢一郎先生は日本が生んだ世界に誇れる政治家です。

小沢先生のことを考えると、【小沢先生の存在が政治を信じられるものになっている】と思います。

小沢先生と同時代に生きた幸せを感じます。

出来ないことは言わない。約束したことは実行する。このことは、先生が若いころから一貫して実行されてきたことですね。

インターネットでは、小沢一郎代表と民主党の人気は高く、ネットではもう政権交代しているのかと思うほどです。

既存の新聞、テレビからしか情報を得ることができない人にいかに、正しい情報を発信してゆくかが、衆議院議員選挙の勝敗を決すると思います。

参議院議員で民主党が優位になってから、多方面で政治が国民のほうへ向いて来ました。

参議院議員選挙で民主党が圧勝した日の喜びは忘れる事が出来ません。

衆議院議員選挙で勝利する日の喜びを夢見て、これからの毎日を何か活動していきたいと思います。

このTokyo Callingは活動を目的としています。

小沢一郎先生が、いつも言われています、政治家は国民が育てるもの。

民意以上の政治家は出ない。選挙を大切にします。

今回の衆議院議員選挙を小沢一郎先生を中心をして、皆で闘い抜いて、
日本の民主主義を守り、国民の国民による国民のための政治を民主党政権
小沢一郎首相の手で確かなものとし、未来に向けて、誇れる日本を残しましょう。

平成21年4月21日 Tokyo Calling
ひすい（おばさん）

拝啓、小沢一郎様

hatakejin(2009年4月22日)

拝啓、小沢一郎様

連日の勢力的なご活躍本当にごくろうさまです。
今回の政敵からの稚拙な謀略、あまりに見えすいてますが、
政府・与党、マスコミ総力をあげての、
小沢様、民主党への攻撃は、まだまだ多くの国民を
揺さぶる力をもっているかもしれません。

政治を国民の手に取り戻すことは、
政治家のみなさまだけのがんばりで成されるものではありません。
私たち国民一人一人のがんばりが不可欠です。

そのために、平成海援隊・TOKYOCOLLINGなどで
心を同じにする多くのみなさまとともに私も
できるかぎりの努力をする所存しております。

お体に気をつけて政権交代目指してがんばってください。
力のかぎり応援いたします。

hatakejin

拝啓、小沢一郎様

[おせっかい](#)(2009年4月22日)

拝啓、 小沢一郎 様

我々、白川勝彦さんに導かれて「平成海援隊」に集まった憂国の同志は、小沢代表が先頭に立ち「政権交代」を

実現することが最大の願（ねがい）です。

お身体に気をつけて、最後まで闘っていただけますようお願い致します。

「おせっかい野郎」より

拝啓、小沢一郎様

[Yyamaguchi](#)(2009年4月22日)

地方行脚の再開を大変うれしく思います。日々お疲れ様です。

ご周知の通り、マスコミ報道やテレビの討論番組は相変わらず、「代表を辞任せよ」との偏向論調一辺倒です。ここで仮に小沢氏が代表を辞任されても次の衆院選では、民主党側が勝利して、政権交代が実現すると予想されます。そして、その読みは、自公側も同じであり、自公は、次の選挙で自分達が勝利宣言できる可能性は極めて低いと考えていると思います。

だからこそ既得権益の集団（自公、官僚、マスメディアなど）が一体となって小沢おろし一点集中キャンペーンを張っているわけです。

その理由は、4月5日の時事放談に出演された民主党最高顧問の藤井裕久氏の次の言葉(録画していなかったのでおおまかです)が現在の事態をいみじくも的確に要約していると思います。

「残念ながら霞ヶ関（官僚）の改革を出来る人は自民党にはゼロである。そして、民主党でも小沢さん以外にはいない。それが今回の事態（西松事件）を引き起こした」

つまり、現段階で、本当に官僚支配を突き崩せるのは、小沢氏しかいないだろうというのは、自公、官僚、民主党の共通認識ということです。

逆に言えば、官僚に代表される既得権益集団からすれば、「小沢氏さえつぶしておけば、たとえ政権交代しても、従来通りの官僚支配を継続できるだろう。官僚が新しい政権も引き続き操縦できるだろう」という読みにつながります。

従いまして、仮に小沢代表が辞任した民主党で政権交代しても、私たち国民の利益を真に代弁する政治を行うのは困難であると思います。

党内外からの圧力で小沢氏の日々の心労は並々ならぬものがあるかとは存じますが、バックには本当に日本を変えたいと願う大勢の国民がついております。どうか「小沢代表での政権交代」にむけ闘い抜いて頂けますよう重ねてお願い申し上げます。

2009年4月22日 山口（フリーSE業）

小沢代表への手紙

[はな](#)(2009年4月22日)

小沢代表 お元気ですか。

代表が、モンドール元大使との会談で「サンゴの海と、ジュゴンの生息地に飛行場を作る必要があるのか」とおっしゃった、という記事を読みました。胸にじんと来ました。政治家の言葉を聞いて感動したのは久しぶりです。

また、先日の定例記者会見で、マスコミについて、ズバリと本質を突く発言をなさいましたね。思わず快哉を叫びました。

小沢代表は言葉の人だと思います。私は言葉の人を信じます。最近は覚悟の人でもあるようにお見受けします。覚悟を決めた代表は、素敵です。

小沢代表。3月3日以来の騒動で、さぞやお疲れのこととお察しします。

たまには息抜きをなさって、来るべき政権交代のために頑張ってください。心から応援しています。

はな

小沢さんへの手紙

いろは（2009年4月22日）

小沢さん

私は東京都6区に住んでおります。

東京6区にも小沢民主党を支持する選択肢が必要です！

私はそのことで、5区の手塚さんにも8区の保坂さんにも、国民新党さんにもメールを出しました。

新党日本さんにも出そうかな・・・

私個人、一人では何もできませんが、投票権を持ってして支持者に一票を投じることはできます。

ところが、6区には勝たせたい政党はあれど、勝たせたい候補者はいない。

この前、自民党の越智たかお氏が、通行人などいない、車ばかりが行き交う交差点の一角にて、初夏のような汗ばむ陽気の中、大きな声で政策を訴えていました。

それはとても尊い姿だった。

私はそれを見て、この人に一票を投じようかとも思ってしまった。

それは、テレビやその他のメディアを使ってではなく、その土地の人に、その土地で、同じ目線で話しをするということの重要性、小沢さんがドブ板選挙というものをとても大事にされている理由がわかった気がした瞬間でした。

小沢さんも沢山誤解され、また誤解されっぱなしのことも多々あるでしょう。

けれども、有権者が理解していればいいんですよね。

きっとそのような哲学で行動されているのでしょう。

小沢さんは大丈夫。

でも、東京6区の有権者のことも、十分にご考慮ください。

どうか、私たちにも「小沢氏を支持する！」という意思表示をさせてください！

どうか、お体にだけはお気をつけて。

よけいな世話だとは思いますが、
本当に本当に、常に、最強の運転手と最強の SP を付けて行動されますように。

政権交代が実現した暁には、勝利宣言にあわせて
紙吹雪を持って民主党本部へ押し掛けますので、
どうか、場所の確保をよろしく願いいたします。

では、引き続き、頑張ってください！

拝啓、小沢一郎 様

土井敏喜（2009年4月22日）

今日は、2009/04/22です。

党員・サポーター更新のお知らせが、事務局の佐藤亜里さんから届きました。

小沢先輩におかれましては、命がけの日々ですが、いかがお過ごしでしょうか。

4/21は、小沢代表の定例記者会見を視聴しまして、厳しさの中に柔らかい表情を拝顔して、少し安堵いたしました。

願わくば、これに「明るさ」を意識して下れば、女性層にも好感度が上がるのではないかと存じます。自意識でもいいですから、感じていただければ幸いです。

小沢先輩は、「強面て」のカリスマ性より「詩人」に近いのが、本来の資質のように思えてなりませんでした。

さて、定例記者会見と同日、第3回目の「政治資金問題を巡る政治・検察・報道のあり方に関する第三者委員会」が開催され、ビデオで視聴しました。ロッキード事件の「コーチャン証言」という前代未聞の証拠を得るために訪米した堀田力・元検事が「意見交換会」で発言されました。そして、あの「コーチャン発言」の中身もあった、田中角栄以外にモット関わり大きかった政治家は不問にされたことを、思い出していました。

堀田氏は、あいも変わらず「検察が捜査に着手したら、当事者は辞任すべきだ論」で、それが「法的」解釈以前に政治的意見の前提があり、「変わらぬ人」だと、不快感を覚えました。以下は、その感想を、郷原・元検事宛に私的にメールしたものと、mixi日記で書いたメモです。

公平に見て、冷静に書いたつもりです。何かの参考になれば幸いです。

慶応義塾大学・哲学科卒、元・農協マン、62歳。

広島市：土井敏喜 拝。

.....
郷原信郎 様

今日は、2009/04/21です。

本日の「第三者委員会」のビデオを拝聴しました。お疲れ様でした。

マスコミも、取材先OBと視聴者の両者から「責任」をなすりつけられて、どういう気分で聞いていたのだろうか、と思いました。

堀田氏は、郷原さんが事前に言われていたように、「さすがに御年のせいか、あまり議論の状況がわかっておられないのかも知れません」の通りでしたね。

一番強く感じたのは、この歳にして、エリートが目線では「情報」を聞き、また読めないのだろう、ということでした。

郷原さんへのきついパンチを持っているつもりで、この第3者委員会に出て来られたようですね。全くのはずれでしたが「郷原さんが、リークで出世できなかった」ごとの発言が、出てきたのが、彼の脅しに近い本音だったのでしょうか。堀田氏の言う「国民」とは、すでに統治者のいいなりに動くような大衆ばかりではないのに、です。

小生も、農協改革を起こそうとして「左遷」されて辞職した経験がありますので、郷原さんが「長崎地検」での「政治資金規正法」へを駆使して、若い部下と共に経験した「検察のイノベーション」体験の現場感覚が、本庁には受け入れられなかったということが、検察を辞められた原因だったのだろう、と推察しております。

郷原さんの「大衆の原像」と、堀田氏の統治すべき「大衆像」との大きな食い違いが、よく分かりました。それにしても、ロッキード事件後、すぐ退職して設立されて理事長に納まった、堀田氏の「さわやか財団」への出資者は誰だったのかに興味がありますね。

産・官・学・マスコミ・外国政治家らの「エリート意識」こそが、「拝金主義的」な20世紀的価値観と、小生などの指向している「いのち自衛的」な21世紀的価値観への転換との「ギャップ」が、今回の事件の根底にあるようです。これこそ、もはやエリート主義の衰退現象です。

また、この連休明けにも「恐慌」の深化が深まるでしょう。世界は20年間、日本は5年くらいの間は、何をしても有効ではなく自己回復するまで、困難な生活を強いられるはずで、本来は古典的な「雇用対策」くらいしか有効な「政策」はないはずなのに、エリートの存在理由を作るための「アリバイ」づくりのための経済対策の大盤振る舞いには、小生などは大変しらせております。

ゆえに、逆説的ですが、権力側の姿が「こんなものか」ということが分かり愕然としたともに、こんな「単純さ」だから、他人の命や脅迫も出来る精神構造ができることが、よく理解できました。

それにしても、この事件で、「小沢代表のパラドックス」で、野党が政権を握れば「団体献

金の廃止」が可能性が見えてきたのが何よりです。個人献金の所得税控除などが実現すれば、最悪の行政機関の「税務署」への、国民側からの「納税」と「税の使われ方」への関心が高まり、タックス・ペイヤーの意識が持てるのは、大変いいことだと思います。

この連休後から深刻化する「恐慌」の時代に、「米国のポチ」（属国）からは、自然に抜け出すことを強いられるのですがね。

それにつづいて、誰も信じないけど、世界覇権国・日本にならざるを得ないために、「責任」の所在を問われるのが「21世紀」という日本の時代だと思います。増田悦佐『格差社会論はウソだった』を読んでください。

増田悦佐氏は、「ポストモダン」社会を、「知的エリート支配という、あらゆる階級支配の中でもいちばん厄介な階級社会のくびきから大衆が解放された社会が「日本」だ」と、『格差社会論はウソである』（PHP 研究所 2009. 3. 11）の中で述べています。

郷原さま、飯尾潤・委員長、桜井敬子さん、お疲れでした。

土井敏喜 拝。

<以下はmixi日記（友人まで公開）>からです。

（題）このままでは、「大衆の反乱」が「税」の部分で出てくる。それが小沢事件の「国策逮捕」の帰結になると予測しています。

2009/04/20

まず、近代の国民国家における「国家」の定義は、世界基準では「行政府」のことを意味しています。

しかるに、このたびの「小沢一郎・公設秘書」の起訴に関しては、小沢氏の「記者会見」を視聴できたものの、検察庁からは、特捜「関係者」からの、マスコミの司法記者クラブとの会見でしか、国民は知ることができないのは何故でしょうか？

「国民国家＝行政府」の一員たる検察庁が「説明責任」を果たさなければ、それが「国策捜査」と同義になります。第2回の「第3者委員会」に、「法務省がこのような理由で出席

を拒絶したことは納得できない」に同意するものです。また、「国家＝行政府」の前提たる検察の上位部門の「法務省」が、「コンプライアンス法令順守」への定義が出来ないままで、イノベーションが出来ず、時代遅れなのではないのか。

このように、検察当局が「説明責任」を果たせないことは、郷原氏の言う「ガダルカナルの戦場」のように、「国家」を否定することになるのではないか、或いは既に「近代・国家」が崩壊過程にあるから「説明責任」が果たせない、という認識でいいのだろうか。

3月25日朝日新聞朝刊15面「声」欄によれば――「裁判制度」での導入に関連して、樋渡利秋検事総長は、「2月18日の合同会議で「検察自身も、国民により身近で開かれた存在に」、「捜査処理・公判遂行を丹念に説明することにより理解と信頼を獲得するよう努めてほしい」と言っています。

つまり、堀田、河村元検事らの言う「説明責任はない」という傲慢さを、検事総長自信が否定していることになりませんか。

言い換えれば、「捜査がこれだけで終わるのであれば、検事総長以下、なぜ今やったのかを国民に説明しない」と、辻褄が合わないのではないのでしょうか。これから得る結論は、「国家＝行政府」の一員たる検察庁が「説明責任」を果たさなければ、それが「国策捜査」と同義（トートロジー）になることにはならないか、ということになります。

だが、もちろん大衆はそこまで愚鈍ではない。薄々ではあれ、政・財・官（行政府）・マスコミ権力の莫大な収益は自分たちをだまして巻き上げたカネだと気がついている。

経済「学」とは、「支配者と組合の指導者（自治労、連合など労働エリート）」の「双子」のためにある、と規定したのは吉本隆明です。

今おきている「恐慌」に対しても、エリートたちは暴利をむさぼり続けている。ゴールドマンサックスやシティの「黒字決算」は、「時価会計」を外したダブル・スタンダードによる「税金」の搾取に過ぎない。だから、とうとう我慢ができなくなったところで、サブプライムローンの債務不履行が激増するというようなかたちで大衆が反逆する。その結果、いちばん大きな被害を受けるのは自分たちだと分かった上で。まさに、東映ヤクザ映画が描くワンパターンの「堪忍袋の緒が切れて」型ドラマツルギーの世界だ。

例えば、決算事務をしていて税理士との会話で出てきたのですが、「消費税不納付」の中小企業が続出だそうです。マツダなどの下請け企業などの製造業では売上が、前年対比が85%から60%まで減少しているのです。「消費税不納付」は、これからとんでもなく増加するだろうとのこと。

ある知人も、不納付800万で、税務署から「これ以上待てない。差押える」とのことで、

完全不納付に決めたそうです。差押えされるのは「家賃の敷金」だけだから、放置しておくとの、返事。

個人でも、国民年金・国保の納付率の低下や、後期高齢者保険料・介護保険も高齢者の年金から「天引き」分は別にして、銀行引き落とし分は、おそらく回収できない方向に進むでしょう。

まさに、「エリートたちは暴利をむさぼり続け、とうとう我慢ができなくなった」大衆が、エリートが作った金融派生商品に対して、「債務不履行が激増するというようなかたちで大衆が反逆」するだろう。

その結果、いちばん大きな被害を受けるのは国民自身だと分かった上でのことなのだ。まさに、「東映ヤクザ映画が描くワンパターンの『堪忍袋の緒が切れて』型ドラマツルギーの世界だ」（増田悦佐）ということと同じことにならないか。こうした大衆の反乱は、「自己破産」のみならず、大衆の生活現場ではすでに起きていることです。

これらの背景の思想として、増田悦佐氏は----「ポスト・モダン」社会を、「知的エリート支配という、あらゆる階級支配の中でもいちばん厄介な階級社会のくびきから大衆が解放された社会が「日本」だ」と、『格差社会論はウソである』（PHP 研究所 2009. 3. 11）の中で述べています。

以上のように思考を働かせば、このままでは、検察だけではなく、政官財とマスコミの権力は溶解していくのは必然だろう。

もし、この事件で、「コンプライアンス」を現場に明確に価値基準として明らかにし、特捜の再生イノベーションをできなければ、「階級社会のくびきから大衆が解放された社会としての『日本』になれない」（増田悦佐）という、民主主義の危機以上のものを感じます。

ひいては、孫の世代たちが「戦争」へと狩り出される、戦前の「国策捜査」（特高捜査）に繋がるのが怖い、というのが今回の事件へ関心を持つ最大の理由です。

.....

From: 一般社団法人 日本里山協会：理事 土井敏喜

一億総引きこもりの国。

[街猫代表](#)(2009年4月22日)

国内国外全ての問題は、腐った政治、行政にある！北朝鮮でもない、アメリカでもない、中国でもない。全て日本の売国腐れ政治屋自身にある！見てください。疲れる街並み。自殺者の数。不道徳。不寛容。

世界一すさんだ国になりそうです。

小沢さんやれないときは、腹切て果ててください。猫が介錯しますよ。

拝啓、小沢一郎様

keita(2009年4月22日)

拝啓 小沢一郎様

静岡市にて自営業を営む者です。

3月3日よりの一連の出来事に代表同様に「合点のいかない」ひとりです。

検察と一体となったマスコミのこのような無法がまかり通って良いはずはありません。

火曜日の記者会見の模様をビデオ配信で見るのを楽しみにしております。

政権交代を小沢代表の手でぜひ成し遂げてください。

お願いします!!

拝啓、小沢一郎様

[官軍](#)(2009年4月23日)

思えば15年前、非自民連立の細川首相が辞任しましたが、今から思えば平成維新という歴史的認識と覚悟が余りに乏しかった為簡単に放り出してしまったのでしょう。

細川後の15年間の自民の無策の結果が、無残な今の日本の姿です。

あの時、細川政権で2回ほど予算を通していれば今、自民党は日本に存在していなかったでしょう。

しかし現実には五十五年体制で対立を演じていた自社が手を組むという禁じ手により羽田政権が崩壊し村山首相による自社連立政権が誕生しました。

それからというもの日本の政治は機能していません。

なぜならほんの10ヶ月間で野党に転落した自民へは、財界は金を持ってこなくなり、官僚は顔を出さなくなり、マスコミの夜がけ朝がけの取材もなくなりました。野党に転落した瞬間、開店休業でだれもこない屈辱を

味わった自民党は、自社政権で復権したのち10年間は政策よりも二度と下野しないための小沢潰しでした。

まず小沢派の大物大蔵事務次官の天下りの目を摘み、小沢派官僚をノーパンしゃぶしゃぶで追放し、旧自民の新進党議員には自民党に寝返れば良いポストを用意すると言ったり小沢と手を切れば対抗馬は出さないと脅したり、小沢と手を切らなければ池田を国会招致すると公明党を脅したり。小沢派財界人を締め上げたり、小沢派マスコミを露出できないようにいじめたりしました。しかしこれは権力闘争ですからお互い大なり小なりあります。結果として新進党は解散しその後の自由党も半分自民党に奪われ、小沢一郎は壊し屋で側近が離れていくというレッテルまで貼られました。しかし小沢一郎が凄いのは手足をもぎ取られても民主党の党首となり復活したことです。

この方は言い訳を一切しません。メッキじゃないんです。本物の地金なんです。小沢民主党党首誕生に対し自民、公明、官僚、マスコミは狼狽し悪夢が蘇ったのでしょう。なぜなら小沢政権誕生の暁には自民主流派の町村派の幹部は戦々恐々でしょう。またマスコミでは読売の渡辺さんが真っ先に引退を表明するでしょう。

自民党は党内で主流派、反主流による派閥力学によって首相を変えてきました。反主流になると検察からの捜査やスキャンダルの対象になることが多々あるので、勝ち馬に乗って主流派になろうとするのです。

小泉一郎の自民党をぶっ潰す!は自民党ではなく橋本派、経世会を潰したということです。

日歯事件や経世会タニマチだった西武鉄道の堤会長事件、
突然政界引退した野中元官房長官などなどです。

同じ自民党のなかでこれですから政権が変われば革命のようなものです。

日本は余りに政権交代に対する経験がないので、今の権力者は恐怖が先にくるのです。今まで与党や官僚はいつも政策の一貫性が大事だと言ってきました。勿論長短あるのですが、首相によってドラスティックに変われることも同じように大事ではないでしょうか。

アメリカのように大統領によって政策がまるっきり違えば有権者も真剣に投票するのではないのでしょうか。

ちょっとお酒が入って前後が合わなくなりましたが、この20年間は間違いなく小沢政局です。小沢対自民党の戦いでした。

小沢一郎という人はすごいですね。一人で自民と戦ってきたのですから。

自民党の連中も小沢党首は本物と認めているから恐れるのでしょうか。

91年に日本改造計画を出版し日本の政治家で初めてヴィジョンを示しました。あの時多くの国民と自民党は異を称えましたが、今になって後追いをしているのが現状です。

最後に小沢党首には本当の意味での戦後政治の総決算をお願いします。

そのためには政権が必要ですから、政権奪取のため私に出来るすべての事をいたします。

「小沢代表！日本の良き未来のために頑張ってください。」

官軍

拝啓、小沢一郎様

にゃー(2009年4月23日)

拝啓 小沢一郎様

はじめまして。

自公政権に嫌気をさし、是が非でも政権交代をと願う無党派です。

3月3日当初は民主党お前もか・・・と思ったものですが、時間が経つにつれこの事件は可笑しいと考え直し、今では国策捜査だったのだと確信しています。

既存利権者達が恐れ、代表の座から引き摺り下ろす事に躍起になっている小沢さんに腐敗した日本の再生を託したいと思っています。

どうか頑張って下さい。微力ながら応援しています！

平成21年4月23日

拝啓、小沢一郎様

[山岡太一](#) (2009年4月22日)

小沢代表さま

あなたを信頼しています。あなたの判断、行動を信じています。思い切ってやってください。くれぐれもご健康にご留意ください。それと身辺警護をさらに厳重にしてください。できれば防弾チョッキをつけてください。政権はあなたを除くためにはどんなことでもします。警察や検察は裏の世界に通じています。権力の手先である警察・検察は表と裏の攻撃をします。どうか、ボディガードを十分つけてください。あなたの健康とこのことがもっとも心配です。

拝啓 小沢一郎様

paparagi (2009年4月22日)

今、日本は、戦時なのだと思います。自公“合体”政権、検察、マスコミ・・・、私たち国民の敵は強大で狡猾で確信犯です。

しかし、この戦いに私たち国民は必ず勝たねばなりません。勝たねば、この国の未来は無いのです。

戦後60年、日本はずっと平和のように見えました。その間私たち国民は国に何かしてもらうことに慣れすぎました。民主主義は面倒なものだ、政治は遠い世界のことで、私たちは教えられ、疑わず、多くの大事な決定権をお金と権力を持つ人たちに預けっぱなしにしてきました。

しかし、今そのことがとんでもない事態を引き起こしていることに気づかせてくれたのが、3月の検察による大久保秘書不当逮捕でした。

といっても、マスコミの幻惑のお粉に惑わされて、まだ不当逮捕であることにも気づいていない国民も沢山います。メディアももう明らかに「政権交代阻止」の意志を持つに至っています。自らの首を絞めていることにも気づかず。

私たちはネットで知り合い、情報を交換し、自分たちの出来ることから草の根で、ご近所に友人に、この国の真実を伝え、何が何でも政権交代を成就させようとしています。

小沢代表も、そして民主党も一丸となって、真実を伝え、勝ち抜いてください。攻撃に勝る防御はありません。そして、小沢代表や候補者の皆さんは、民主党が政権を取った暁には、検察による不当逮捕が起こるような社会から決別出来ることを説明してください。真に安心な民主主義社会の第一歩になることを説明してください。

小沢一郎と国民は一蓮托生です。最後まで、腐敗した権力の手先の脅しにひるむこと無く、闘い抜き、勝利を収めましょう。

4月22日アースデイに
paparagi より

拝啓、小沢一郎様

ふわふわ（2009年4月23日）

小沢代表 お元気ですか。

私の一番信頼する政治家に日本を任せるときがきました。

小沢代表なら安心です。

何も言わなくても、私はわかってます。

そのままの小沢代表がいいです。

ずっとこれまでこの国のことを考えて、変わらず頑張ってきたんですものね。

大丈夫！「至誠通天」です。

でも体だけは、充分気をつけて大事に大事になさってください。

チビちゃんと写った写真を眺めて手紙を書きながら、

私にできることがあればいつでも飛んでいきたいと思っています。

心から応援しています。

ふわふわ

拝啓、小沢一郎様

松本正喜（2009年4月23日）

小沢さん、健康状態が心配で心配でなりません。

未だに言われ無き罪（私は政治資金規正法の虚偽記載にも当たらない、とっておりで）で釈放されず拘留中の大久保秘書の健康も心配でなりません。

小沢代表失脚を狙った西松献金疑惑なる政治謀略、マスメディアの目に余る偏向報道、コメンテーターと称す（御用・似非）政治評論家・学者によるバッシング、世論操作は凄まじく、ご心痛如何ばかりと案じており、胸中を察すると”怒り”、”悔しさ”、・・・色んな感情が込み上げてきます。

植草一秀氏が言う悪徳ペンタゴン（政・官・業・外・電）が総力を上げ、小沢代表失脚を図れば図るほど、小沢代表が邪魔で大きな大きな存在であることを、証明している、と思うようにしています。

日本は法治国家であり、例え悪法、ザル法であっても遵守しなければならず、法の執行は”法の下に平等”でなければならない。にも関わらず、貴陸山会は実態が在る政治団体「新政治問題研究会」「未来産業研究会」からの献金を政治資金規正法に則り記載、処理したにも関わらず、虚偽記載として、いきなり公設第一秘書が逮捕・強制捜査、そして起訴された。検察当局の記者会見（記者クラブ内、しかもでカメラ規制）で、国民の巨額の税金を使う公共事業を歪めた”重大で悪質な事案”と言うが、何が悪質で何が重大なのか、具体的な説明も全くありませんでした。そもそも公共事業の発注は国か地方自治体であり、職務権限が無い野党党首の言うことを聞いて入札に便宜を図った話なのかと思えば、起訴状にはその旨の記載が無い。

献金額の多寡を言うのであれば、閾値を示すべきであるが、具体的な金額を言わず抽象的な”多額”を繰り返す。（従来1億円？） また、同じように献金を受け、しかも職務権限有る与党側議員の二階経産大臣、尾身元財務相、森元総理ら自民党議員の捜査も、”法の下に平等”からかけ離れたもので、結果として漆間副官房長官の発言通り、となっており、疑問を乗り越して非常に腹立たい。（森田健作知事もしかり）ただ、唯一の救いは、検察は年度末に関わらず地方から多数増員して徹底的に調査・捜査を行ったが、あっせん利得罪など立件できず完全な失敗に終わり、小沢代表側の”クリーンさ”を逆に証明してくれた、と思っています。

それにも関わらず、未だに自公の議員、共産党議員、マスメディア、TVのコメンテーター、並びに一部民主党議員は、小沢代表の説明責任、道義的な責任云々を言うが、自民党

の献金体質を先に糾弾すべき、と思います。

(2007年度の自民党の企業献金は168億円、民主党は16億円)

この度の西松献金疑惑は政敵を葬る政治謀略であれ、霞ヶ関の暗黙の"総意"による検察の暴走であれ、恣意で権力を過剰行使、マスメディアを悪用して偏向報道、世論誘導により政治状況を一変させた、ことが大きな問題であり、民主主義の根幹を揺るがす重大な事案で、問題視しない日本の状況を驚きを通り越して恐怖さえ感じます。("明日は我が身"では) また、何故、民主党議員が一丸となって、この問題を正面から取り上げ、全力で闘わないのか。(大局が見えず、自分の選挙が大事?)

申し遅れましたが、小生(57歳)、出身が宮城県仙北で、小沢代表が育った水沢に近いこともあり、「政治家小沢一郎」は選挙権を持った20歳頃から常に気になる存在も、大嫌いな政治家の一人でしたが、『剛腕維新』を読んだ頃(2006年)から、民意による日本史上初の政権交代(無血革命)、真の国民主権、民主主義の確立、日本の再構築・再生を託せる人物は「政治家小沢一郎」以外いない、と思うようになり、今では心から支持、応援しております。大事を成し遂げる組織には"核:コア"が絶対必要であり、民主党が掲げる"国民の生活が一番"を実現するための旗印は「小沢一郎」でなければならず、代表職を絶対辞任してはいけない、と強く思っております。

小沢さんが、先日"天命"と仰ったことは、今回の西松献金問題は天が与えてくれた最後の試練であり、これと闘い、乗り越え、念願で夢である政権交代を成し遂げ、政権運営を介して民主党議員を育てバトンタッチするまで頑張る、と解釈しております。(下野した自民党議員も育て、政治全体のレベルアップに繋がる、とも思っております。)

昨今の小沢代表の表情(TV・報道写真を通じてですが)や発言から政権交代に"政治生命"と言うより"命"を懸けている、と私には強く感じられます。

小沢さんは持病も抱え、お体が本当に心配でなりません、小沢さんを支持、応援する多くの国民の存在を支えに頑張ってください。

(身辺には充分注意してください。)

最後に定額給付金は受け取らないと何に使われるか心配なので受け取りますが、とても自分で消費する気が起きませんので、受け取り次第、陸山会に現金書留で送付いたしますので、小額で恐縮でございますが、これからの活動に使っていただければ大変嬉しいです。

【追伸】

20日からの地方行脚の再開、21日の記者会見における、党首討論について「今後機会があればいつでもやりたい」の発言も大変嬉しく思います。是非、党首討論に応じて、

麻生総理を前回同様論破し、「政治家小沢一郎」は健在であり、その存在感を改めて国民にアピールしていただきたく、思います。

宮崎信行さんのブログに

「法務省は4月1日付で、岩手県内の検事3人を東京地方検察庁（東京地検）に異動」の記事（22日付け）があり、宮崎さん同様に恐怖心を覚えました。
杞憂に終われば良いのですが。

私が毎日必ずチェックしているサイト／ブログを参考までに示します。
（既知のこととは思いますが）

Yahoo!みんなの政治（投稿削除も多いですが）

植草一秀の『知られざる真実』

日本がアブナイ！

カナダ de 日本語

国会傍聴記 by 下町の太陽・宮崎信行

きっこのブログ

田中良紹の「国会探検」

永田町異聞

ムネオ日記（鈴木宗男衆議院議員）

平成海援隊 Discussion BBS

TOKYO CALLING

そして最後に

小沢一郎ウェブサイト（掲示板・投稿）

民主党の職員、議員個別事務所スタッフの関係者の皆様へ

世論の1つであるネット上の国民の声（強力な応援多数）を日々の活動に役立てると共に、多くの人に上記のサイト／ブログを紹介していただき、輪を広めることは非常に有効な手段と考えており、
何とぞ、ご検討の程、宜しく願い申し上げます。

敬具

平成21年4月23日 記

小沢代表、頼りにしています

京都六区の有権者（2009年4月23日）

拝啓、小沢一郎さま

いよいよ 政権交代が現実のものになった時の検察の陰謀には腹が煮えくりかえる思いです。

民主主義の危機を民主党を挙げて大いに訴えるべき局面ですが党内で小沢批判をする人間がいて大変残念です。しかし支持者のほうはは脱落するものもなく、かえって強固な支持に向かっています。

自民・公明、特権官僚、マスコミ（マスゴミ）、御用評論家、等々の謀略に屈することなく、われわれ国民のために突き進んでください。

天下り、年金、高齢者医療制度に対しては庶民の怒りが充満しています。これに企業献金廃止を入れて衆議院選挙を戦えば強い訴えになるものと信じています。

相手はあの麻生太郎です。敵にみなすのもバカらしいレベルですが、その後ろにいる巨大な既得利権者を倒してこそ、日本にはじめて光明がさします。

お身体を大切に、来るべき戦いに勝利してください。

「平成海援隊」には大勢の支持者が集っています。

京都6区の有権者より

小沢一郎様

横浜市 T.O (2009年4月23日)

私は在日韓国人なので選挙権はありませんが祖母祖父の時代よりこの日本で生き暮らしている者です。

故に私の日本を思う気持ち、憂う気持ちは他のみなさんと全く同じです。

訳あってなかなか帰化することが叶わない現状ですが私の国は日本しかないと思っております。

小沢一郎代表が次の総理かと言われながらその自民党を自らの信念から出て政権交代を目指された頃から私もやっと政治というものに目がいくようになり、その頃から小沢一郎という方を尊敬してきました。

今まさに政権交代が叶うというこの時期、既得権益を守らんが為に小沢代表の秘書の逮捕をした検察という官僚組織と、既得権益にがんじがらめになり言論の自由すらとても危うくなっている日本のマスメディアによって作られた今回の暴挙の数々。そしてこの大事な時期に腰の据わらない一部の民主党議員達。さぞや悔しい、辛い忍耐の日々だろうとお察し致します。

一党独裁によってぼろぼろになっているこの日本を立て直す為の舵取りが出来るのは小沢代表をもってでしか成し遂げられません。この官僚に支配されるしかなくなってしまっている日本の政治、既得権益にがんじがらめになり現与党の広報になりさがったマスメディアを壊し建て直し新しい国をつくってください。それが出来るのは小沢代表しかおりません！

小沢代表、あと一步この産みの苦しみを越えてせめて政権交代を成し得てこの国の新しい骨格が出来るまで踏ん張って、どうぞその任から離れないで下さい。

そしてこの日本を私たちの子孫の為に救ってください！

最後にお身体がとても心配です、ご無理をなさり過ぎずお身体をご自愛なさりながら頑張ってください。

拝啓 小沢一郎様

匿名希望 (2009年4月23日)

今回の西松の件で、大変だと思いますが、ぜひ政権交代と国民の生活のために代表として民主党を引っ張って行って下さい。

ずっと応援していますので、これからも体に気をつけて頑張ってください。

敬具

一郎初志貫徹！

クールなOB(2009年4月23日)

ウォーキングの傍ら、「タカハシ某」と「オブチ女史」ツーショットのポスターが目にとまります。奥州水沢の街中の人々は恩を仇で返す所業を決して忘れることはないでしょう。

思えば、福田首相との党首討論で、小沢代表の「既得権益がいけないと言っているのですよ」との発言に、テレビに向かって「そうだ！」と大声を発していた自分がいました。

党人派の小沢代表の構想力の大きさは、右に出る者は皆無と言っても過言ではありません。弾圧は承知のことと思いますが、きっとあなたは偉人として後世に語り継がれることでしょう。

妻に先立たれ還暦を過ぎたらみょうに涙もろくなりましたが、政権交代をこの目で見届けるまで生き続けようと思っています。これからも応援し続けます！！がんばってけらい（がんばってくださいの水沢弁） 一郎。

拝啓、小沢一郎様

クス(2009年4月23日)

特定の時代に要求される政治家がいます。私が指摘するまでもなく、小沢さんは、今という、時代が大きく変わる時点において、この国によって必要とされている政治家です。

小沢さんが著書で主張されていた日本人の自立は、国内的には、政官業の癒着が極点に達して、完全に官僚が支配する国になってしまった今の日本において、特に必要なことです。国民がまず「お上頼み」を止めなければ、官僚支配の原点は永久に残ってしまいます。

世界を見れば、多極化した時代においては、日本という国の自立が必要です。アメリカとも中国とも、冷静かつ客観的な判断を基に、付き合っていかなければなりません。多くの新興国が、先進国を上まわる勢いで発展していますから、日本は完全に自立した国として、世界の中に位置づけをすることが必要になりました。

16年前に、「日本改造計画」で、日本人と日本の自立の必要性を指摘されたことにも、大局観を持った政治家としての小沢さんの資質を、見る思いがします。

小沢さん、日本を変えるために、健康には特に注意をされて、この国の未来のために、更なる貢献をしていただくことをお願い致します。

拝啓、小沢一郎様

こば☆ふみ(2009/04/23 12:25:34)

今朝は、本当にいいお天気です。
地元の民主党K候補と仲間と大きな交差点に立ちました。
民主党のノボリが風にたなびいて・・・きれいです。

候補の声が響く中、多くの出勤の方の車が通り過ぎ、ガラス越しにうなずいて下さる方、ガッツポーズ、手を振ってくださる方々・・・出勤される方々も今の自公政権にはうんざりされているのでしょうか。
また、出勤出来なくなった多くの方がおられることも容易に想像できます。
週休3日4日という具合ですから、めっきり出勤の車が減ったように感じます。

3月3日以降の小沢さんの記者会見を拝見しながら。
さぞや悔しく辛い思いをされていることと思います。
毅然として、政治献金の新しいあり方について、オープンな記者会見の提案など、新しい日本に向けて、質問にお答えになりました。
状況を思えば、誰にでも出来ることではありません。

そんな小沢さんを拝見しながら「日本はどうなるのだろうか？」と今こそ、自分の頭で考えて行動するしかないと思っています。
私達も自ら動く時が来ました。

小沢さんを一人にするわけにはいかないのです。

地元候補とともに来る選挙戦を戦い抜こうと思います。
これは、今を生きる私の責任だと思います。

小沢さん、くれぐれもご自愛くださって、多くの人々と触れ合ってください。
何処かでお会いできることを楽しみにしております。

2009年4月23日
こば☆ふみ (ハンドルネームです)

拝啓、小沢一郎様

[勾玉池](#)(2009年4月23日)

私も一小沢ファンとして、3月3日の事件以降、NHK初め民放の報道番組へその偏向した報道姿勢を指弾した投書を数通いたしました。同時に、一部民主党内に漂っている「小沢下ろし」の気配へも“意見”を送りましたが、お許しいたゞき、議員宛の記述の概要を記させていただきます。

【メール先】仙石由人、前原誠司、平岡秀夫、小宮山洋子、蓮舫の各議員宛て

(要旨)

副島隆彦氏の掲示板によると、『今後、続々と発表される新聞の世論調査で、日テレ、フジ、読売、朝日、日経、産経の6社は“協定”し、“首相にしたい人物”の小沢一郎の数字を、15%下げて発表することにした』(極秘・議事録は焼却) <2009/03/07付>との記載があります。信じがたいことですが、今のマスコミ報道の姿勢をみていると、そういう事も十分あり得ると思います。政権与党、検察、マスコミが申し合わせして“小沢潰し”を画策しているとしたかと思えません。兎に角、「小沢さえ潰せば、民主党は迷走し、弱体化する」と思われている。残念ながらこの見方は当たっています。

先の「永田メール事件」では与党の謀略で「偽メール」を掴まされた永田氏が失脚し、命まで絶たれました。その時の党首は前原誠司氏ですが、自らの苦い経験を通して、「小沢秘書事件」での党首の立場をもう少し理解できないものかと危惧の念をもっている有権者、国民が多いです。

小沢党首の“説明責任”が足りないとの論ですが、どう説明せよというのでしょうか。これ以上は、<検察の弁をそのまま認めた発言>でもしなければ前原氏をはじめ皆様方には通じないということなのですか。「まだ十分な説明責任を果たしていない」とは与党議員からの言葉かと聞き違えてしまいます。

この際、総選挙勝利に向かって一致団結して下さい。党の決定を乱す不規則発言が出て来るようであれば、堂々と「離党」してからにして頂きたいと思います。

拝啓、小沢一郎様

[天河水](#)(2009年4月23日)

小沢 さま

さあ 明日にむかって踊りましょう

ええじゃないか ええじゃないか

今年は世直し ええじゃないか ええじゃないか

いろんな戯れ言 ええじゃないか ええじゃないか

明るい後の世 ええじゃないか ええじゃないか

一步すすめば ええじゃないか ええじゃないか

民に神おり ええじゃないか ええじゃないか

邁進しましょう。私たちも踊り続けます。

拝啓、小沢一郎様

[あやめ](#)(2009年4月23日)

3月3日を境に、私たち国民にもやっと見えてきたものがあります。

国民の手にこの国を取り戻すには、私たち一人一人が目覚めなければなりません。

今度こそ、私たちも本気で行動し小沢代表を支えます。

お体に気をつけて、がんばってください。

拝啓、小沢一郎様

[シルバー・ドラゴン](#)(2009年4月23日)

あまりにも国民をバカにしている官僚及び自公政権と、誇りを持ち合わせていないジャーナリスト、メディア等の稚拙、かつ執拗な民主小沢非難にはあきれ返るばかりである。

アメリカの思惑に尻尾を千切れんばかりに振っている売国奴等は、金権に凝り固まり、自己保身以外に思考の働かなくなった頭脳で繰り返す的外れの政策などは、政治に関心のない人や、支持政党の有無などに関わらず、通常的判断力を持つ人間ならば効果を疑うものであるし、今起こっているさまざまな事柄に対しても「何かおかしい」「国民に対して何か意図的な誘導が行われている」と感じるのは当然のことであろう。

今、日本は剣ヶ峰に立っている。真剣に政治を変革しなければ、子々孫々に平和で豊かな暮らしを伝えることは不可能になる。

拝啓、小沢一郎様

sin-nen(2009年4月23日)

今回の西松建設からの献金問題に関しての検察の思想・行動にはガッカリしています。彼らは「正義の味方」面した「餓鬼」と成り果てました。

そして「社会の公器」たるマスメディアまでもがそれを補完する役割を担う「餓鬼」と成り果てました。

政治家や官僚の劣化はとりもなおさずそれを容認してきた国民にも責任はあるでしょう。投票でそういう体制を選んできたわけですから。しかし同じ官僚とはいへ検察までもがここまで侵されてきているとは驚きでした。当初信じ切れませんでしたでしたが彼らの腐敗ぶりもとうとう明らかになりました。

しかし反面勉強にもなりました。今後検察によって摘発される様々な事件について私達はまず「眉に唾を付けて」見直してみることが必要になったと言うことを教えてもらえたからです。

検察は必ずしも「正義の味方」ではない。全面的に信用してはならない。その裏にどのような本質・思惑が隠され得ているのかを読み取る必要がある。時には本当の正義が抹殺されることが起こりうる。etc。

こういう事を国民に気付かせてもらえたということは今後の日本のあり方を見据える上で大変参考になりました。

今回の献金に対して、法的には問題なくても道徳上問題があるという人も見受けられますが逆に道徳とはなんぞやと反問したいところです。党を運営し、新人議員を育て、新規候補者を発掘し、日本全国を駆けめぐるには一体どれほどの費用が嵩むでしょうか。「政治と金」を悪の象徴のように言うのはたやすいが、「政治に金」を理解し得ない似非正直者の戯言だと思っています。それを煽るマスメディアとそこに登場する面々の見にくい顔・顔・顔。その顔のどこに道徳の匂いが漂っていますか？あの程度の献金額は巨額でもなんでもありません。私には充分容認できる範囲の金額です。それは腐敗した政権を世直しして頂く為に必要なコストですから。そしてそれこそが道徳に叶っていると思いますから。

私達は小沢代表の意をくみ取り、政権交代の為のコスト負担を理解するべきです。どうか政権交代を成し遂げこれを軌道に乗せるまで何があっても頑張ってくださいと思います。応援を惜しみません。よろしくお祈りします。

拝啓、小沢一郎様

[みんなの政治](#)(2009年4月23日)

3月の事件以来、小沢代表の去就に一喜一憂している有権者です。
陸山会に生れて初めて政治献金をさせて頂きました。ご丁寧な礼状ありがとうございます。

失礼ながら、良くも悪くも戦後政治の申し子である小沢代表以外に
真の政権交代を成し遂げることは出来ないと思っています。
企業優先、官僚政治だけでなく、今回の件でマスコミ、検察も腐敗していることがはっきり
しました。
長らく続いた戦後政治の総括を小沢代表にお願いしたいと思います。

一昨年の代表去就騒ぎのときに、地元をはじめ多くの支持者の説得を受けて代表に戻られ
たときから、人間小沢さんのファンになりました。
頼まれたら断れない、今の政界で数少ない頼れる政治家です。
昔から世の中は「目明き千人、めくら千人」と言います。
周りの人に目を凝らしてしっかり目明きになってもらうように話しています。

小沢さんは、廻り合わせた役割を持っている政治家だと思います。
自分の信じる通り、進んで下さい。本当に日本のことを考えている人は小沢さんを支持し
ています。
追従外交ではない、主体的な外交ができる日本へ、小沢代表の政治手腕に期待します。

拝啓、小沢一郎様

山下 次郎(2009年4月23日)

山下 次郎と申します。

とある地方都市で零細事業を営んでおります。現在、経済状況は悲惨なものがあります。いくつかの製造業の工場でも参勤四休（一週間に3日だけ出勤）をおこなっており、街の中は活気がまるでありません。

「景気」は「気」からと言いますから、人々が将来に対し希望を持てればよくなっていくと思います。

自公政権および下僕たる行政機関は今「国策捜査」などやっている暇はありません。

日々命を落とす国民の生活が眼中にない自公政権および悪のペンタゴン（政・官・財・学・報）を一刻も早く権力の座から引き摺り下ろし、小沢代表中心に政権交代を目指して、この国の暗黒化を阻止して頂きたいとつよく思っています。

NHK、始め、連日の報道など見ていまして、このままいくと日本の北朝鮮化がどんどん進んでいくという懸念を抱いております。

なおかつ自由にもものも言えない暗黒の社会が来る気がしてなりません。

「言論の自由」、「思想の自由」、「宗教の自由」がない社会が到来してしまうという怖い危機が現実には迫っていると思います。

小沢代表におかれましてはお体を大切に、過半数の国民の期待であります「政権交代」「官民交代」を目指して是非頑張ってくださいたく書きました。

私も当然民主党政権実現のために、できる限りの努力はするつもりでいます。

小沢代表、頑張ってください！！

平成21年4月23日

拝啓、小沢一郎様

小源太(2009年4月23日)

拝啓、小沢一郎様

次の選挙で政権交代がなされ、自・公政権に終止符が打たれると期待し衆議院の解散を心待ちにしておりました。

ところが、3月3日の小沢代表の秘書逮捕から、状況が一変し、それに続く偏向したマスコミ報道により国民の正常な判断が出来ない状況になって来てしまいました。

日本の民主主義の危機を強く感じます。

このままでは、本当に日本がダメになっていくという焦燥感にかられます。

黙っていても、日本を救う事ができません。一人一人が、日本の為に声を出さなければならぬと思います。

私も、自分の周りの人たちに、今の日本の危機を伝えて行きたいと思います。

小沢代表、偏向したマスコミや、それに惑わされてる人の声に負けず、日本のために是非とも政権交代を実現し、国民の手に、政治・正義を取り戻すために頑張ってください。

小沢代表に期待しております。

拝啓、小沢一郎様

昭和竜(2009年4月23日)

小沢一郎様

事件発生後、小沢さんの会見を真剣に見るようになりました。

それまでは、民主党の追い風のためあまり民主党に興味はありませんでした。次期選挙では小沢さんは厳しい選挙であり、もっと勢力を拡大しなくてはと思って いらっしやっただでしょうが、一般人である私は風が民主党を勝たせるという認識で逆にあまり選挙までは興味を持ってない状況でした。

そのため、小沢さんの会見が公開されていてもあまり見る気にはなりません。

しかし、事件が発生後非常に小沢さん、民主党に興味を持ち、民主党の見解なり、小沢さんの会見なりを真剣に見るようになりました。

政権交代が必要であろうということは、明らかでしょう。それと誰が民主党の党首であるかは必ずしも同じではありません。政権交代と小沢さんの役職は必ずしもセットではありません。そう考える私ですが、小沢さんの会見をネットで見ると、他の政治家とは違うと思うようになりました。もちろん、今までの経験、実績から並々ならぬ政治家としての能力を持っていることは認識しました。しかし、やはり小沢さんはずば抜けています。全くウケを狙った発言がありません。内心まではわかりませんが、外心に現れている部分では、実に誠実で説得力があります。政治家にありながら、雄弁ではないのは、むしろ天からの授かり物 とも思いました。

メディアはその性格上、面白くなければ取り上げません。政治家もメディアに媚び、メディアを利用するために、事の大小はあるでしょうが必ずウケを狙います。それが、全く感じられないところがすばらしいと思います。長い間政治家でありながら、そのスタイルで続けられたことをすばらしいことと思います。

今は、メディアとしては代表辞任という目標に向けて、小沢さんを批判することが、メディアの利益ですから、この風潮はしばらく続くでしょうが、負けないで ください。筋を通せば、明日が開かれるはずですが、小沢一郎個人の明日もそうですが、日本国の明日を開くことが出来るはずですが。

今までの筋を曲げないスタイルで、突進してください。

小沢一郎が去れば、政権交代はないとは思っていませんが、小沢一郎党首で政権を交代させることが最適だと強く思います。

熱く応援する国民が多数いることを認識し、けして雑音に負けず一直線に進んでください。

応援しております。

拝啓、小沢一郎様

[ろじゃー](#)(2009年4月23日)

<http://www2.realint.com/cgi-bin/tres.cgi?Tcalling0904155>

小沢一郎様

小沢代表はわが国最高の政治家だと思います。

私たちに、みかん箱の上で誠実に語る小沢代表の姿を見せてください。

(オバマ大統領も木箱の上で演説しているんですね。〔「TIME・President Obama」1頁〕)

説明責任を果たしていないと騒いでいるマスゴミは「公権力の一部になっている」ので(上杉隆・ジャーナリズム崩壊)、小沢代表がどのように説明されても、説明責任を果たしていないという記事を書くだけでしょ。マスゴミ対応も大事ですが、地方行脚で小沢節を炸裂させて下さい。

今回の国策捜査・国策報道は、国民の手に政治を取り戻したいと願っている私たちに対する挑戦でもあります。

政権交代実現のために私も行動しなければならないと思い、「選挙に行こう」運動を始めました。

これは、ボランティア仲間、犬仲間、親戚、友人、知人に対して、とにかく選挙に行こう、マスゴミはでっちあげ報道をしているから自分で考えて投票しよう、と何気なく呼びかけるものです。

たった一人の運動ですが、無党派層の50人を選挙に行かせようと頑張っています。後は、NHK受信料自動振替中止、朝日新聞の購読中止をしました。

私は小沢民主党が勝利し、小沢代表のチャーミングな笑顔が見られるまで全力で応援します。

拝啓、小沢一郎様

あおもり(2009年4月23日)

何を書いて良いものか、こうしてパソコンに向かいながらも迷うばかりです。でもこのBBSに集まる皆さんの書き込みを見て、何かを伝えなければいけない。伝えることから始まるのだと思いました。

今の政治は将来の日本の国民の事を無視しているように思われます。どうぞ民主党・野党の方々一丸となって政権交代をし、口先だけではない国民の為の政治の実現をお願いします。拙い文章で申し訳ございません。

ご心労も多い事と思いますが、どうぞお体に気をつけてこの局面を乗り切ってください。大久保秘書様も長い勾留が続き精神的にも身体的にもお疲れの事と思います。一日も早く無罪釈放され、ご家族の元に戻られますことを祈っております。

(ハンドルネームで失礼します)あおもりより

拝啓、小沢一郎様

寅次郎(2009年4月23日)

民主党による政権交代を心から願う一市民です。

3月3日、総選挙を控えたこの時期に野党代表秘書の逮捕。それ以来連日の「代表辞任」を迫るマスコミの大キャンペーン。

いったいこの国はどうなってしまったのでしょうか。

権力は必ず腐敗する。だからこそ、まがりなりにも三権分立制を敷き、マスコミには権力のチェックを期待しているのです。

ところが、今回、検察権力とマスコミが完全に一体化している姿を見せつけられました。

私は戦争を知らない世代です。小さい頃、両親に問うたものです。

「どうして戦争を止めることができなかったの？」

「そんなことを言える時代じゃなかったんだよ。」

検察リークを無批判に垂れ流すマスコミの報道を見て

「あー、これが大本営発表というものなんだ」と慄然とする思いがしました。

そんな折、代表の口から「ここで屈することはできない。同じことがまた起こるから」という言葉を伺いました。

まさに、その通りです。これは小沢代表だけの問題ではありません。

こんなことを許したら、気に入らない奴はいくらでも逮捕・投獄できる社会になってしまいます。

これは国民1人1人に対する恫喝なのです。

ただ、意図的な世論調査も含め、マスコミの情報をそのまま受け取る人は「代表辞任」を求めることになるのでしょうか。

さらに、世論の反応に敏感にならざるを得ない立候補予定者が浮き足立ち、身動きできない状態にあるのも事実です。

今の段階で、検察・マスコミを批判し、代表を擁護できるのは選挙基盤が確立し、かつ、胆力・勇気の備わった方だけでしょう。

まだ検察が捜査終了宣言を出さず、マスコミがあら探しをしている中で、また、総選挙を前にした壮絶な駆け引きの中で、なかなかうかつなことは言えないと思いますが民主党が一体感を持って選挙戦を戦っていけるよう、何とか党内をまとめていただければと思います。

今は、何か疑心暗鬼の状態、マスコミもそこにつけ込み「内紛」を演出しようとしています。

私も、地元の民主党議員に激励のメールを出します。

私は選挙の票読みなどできませんが、「代表を守りきれば勝ち、党内が割れれば負け」という気がしています。

最後は「気迫」の勝負になるのではないのでしょうか。代表が堂々と自分の信念を披瀝すれば、国民はついて行くと思います。

「これも天命かもしれない」と漏らされたそうですね。今回の事件で、小沢代表は時代が要求する政治家になったのだと思います。

心身ともたいへんお疲れのことと思いますが、代表の夢であり、国民の願いである「政権交代」まであと一歩です。

気持ちを折らすことなく、リーダーシップを発揮してくださいませ。

政権移行の混乱期を乗り切り、民主党の若手が活躍できる場を作っていただきますようよろしくお願い申し上げます。

くれぐれもお体ご自愛のほどを...

心より応援しております。

敬具

2009年4月23日 寅次郎

拝啓、小沢一郎様

BIANCA LANCIA(2009年4月23日)

小沢一郎さま

私は民主党支持者でも、小沢代表支持者でもありません。
政権交代を成し遂げてくれるのなら、民主党でも共産党でも構いません。
「ま、誰か、いつかは、やってくれるであろう」と、思っておりました。

しかし、今回は「誰か」でもなく、「いつか」でもなくぜひ小沢党首の民主党に、次期衆院選で、政権を奪取していただきたい。

先日とうとう、生まれて初めて政党および政治家（陸山会、民主党、新党日本）、さらには地元の候補者に献金（恥ずかしいほど少額ですが）をしてしまいました。

私を行動に移させたのは、「怒り」と「恐怖」、そして「希望」です。

「怒り」と「恐怖」は、もちろん公権力とマスメディアに対して。
検察の、どう考えても理屈の通らない暴走に怒り、同じ方向を向いた報道に、恐怖を憶えました。

特に、（もともとあまり信頼はしておりませんでした）矜持を捨て去りペンを折った報道機関。

このままでは権力が暴走しても、止める手だてが何もなくなってしまう…。

政権交代が実現できなければ、まだ比較的自由にものが言えるネットの世界も統制下におかれてしまうでしょう。

もちろん国民生活も、です。

しかし今、怒りと恐怖で頭から湯気を出しながら、少し不謹慎ですが、ワクワクもしております。

泣いても笑っても5ヶ月以内にやってくる衆議院選、政権交代を信じておりますが、もしかすると、今回の全てのことはもはや単なる政権交代ではなく、のちのち「あの、平成の革命」と呼ばれるような、日本にとっては歴史的な大事件ではないか、と。

そして、その時代に生きていること、それに参加できることに希望を見出しています。

小沢さま。

これからも検察やマスコミの執拗な攻撃は続くでしょう。

しかし、あなたの後ろには、いつでも私たち国民がおります。

「報道機関の」世論調査では 30%に満たない数ですが、小泉劇場に熱狂した移ろいやすい群衆ではなく、心からこの国の行く末を案じ、そしてまだ「希望」を捨ててはいない、私たち国民が。

最後に、

闘いを続けるあたり、くれぐれも、お体にはお気をつけになってください。

乱筆（キーボードも「筆？」）・乱文おゆるし下さい。

追伸：小沢さんは、背広にネクタイより着物が似合う、素敵なニッポンの親父だと思います。

支持者ではありませんでしたが、着物姿はずっと「いいなあ」と思っておりました。

【舞台裏】

.....

思い切って、勇気を振り絞って、書いてみました。

まだ間に合いますか？

拝啓、小沢一郎様

世直し大工より(2009年4月23日)

地方行脚再開ご苦労さまです。

私は九州は福岡のしがない大工です。 ちょっと前までは「政治なんて誰がやっても同じこと！」と思っていた一人でした。

ですが、小泉政権の構造改革がもたらした「国民の痛み」が最近になってボディブローのように効いてきて、政治に無関心ではいられなくなりました。

小泉政権の構造改革は地方分権を掲げながら地方への補助金を大幅に削減、健康保険料の改悪やゴミの有料化（福岡市では45Lのゴミ袋1枚45円）は実質的な増税です。 地域経済を左右する公共工事は大幅に削減され目立つのは道路の改修工事ばかりです。

道路工事に我々大工、左官、鉄筋・鉄骨、クロス貼りなどの職人は必要ありません。

景気悪化によってマンションの販売も低迷しています。仕事も激減しました。地域の商店街はスラム化し、夜の「中洲」も真っ暗です。大企業は多くの「派遣社員」の仕事を奪い、ハロワークは人の山です。

ところが、現政権与党である自民党は、百年に一度の「大不況」を口実に一部の大企業・一部の富裕層に有利な緊急経済対策ばかりを行なおうとしています。

「エコ」という名の元に多額の税金を使い、衆議院選挙のため1階限りの給付金を連発し、票を得ようとしています。

<エコという名の大義名分>

ハイブリッドカー、電気自動車、ソーラーシステム、省電力電化製品などへの大量の補助金が本当に経済効果があるのでしょうか？

新車を買って換える余裕などどこにもありません。ましてや「採算の取れないソーラーシステム」や、使い道の分からない「エコポイント」目当てに電化製品を新たに買い換えることなどはもってのほかです。

これらを買って換える余裕のある人はともかく、我々の様な貧乏人には何のメリットもありません。

これらの補助金の為に消費税を上げようとしている自民党政権はゆるせません。

遅ればせながら民主党の「マニフェスト」を拝見させて頂きました。

「3つの約束・7つの提言」。

とくに「7つの提言」は私が思っていた政治のありかたそのものでした。

政治とは何なのか？、誰の為のものなのか？ の答えをこの「マニフェスト」の中に見つける事ができたように思います。

政権交代の為、「3つの約束・7つの提言」実現の為、日本の国民の生活の為、更なる御健闘お祈り申し上げます。

敬具

世直し大工より

拝啓、小沢一郎様

六丁目(2009年4月23日)

拝啓 小沢一郎様

三月三日から始まった あの公開リンチのような毎日繰り返される卑劣な報道には極度の嫌悪感と 自公一味に憎悪を持ちました。

以前私は選挙の投票には行きますが、それ以外の政治に参加するなど考えられなかったのですが、あまりの理不尽がまかり通る恐怖からこうして企画者に導かれ参加させていただきました。

小沢代表と一緒に政権交代、公正な政治を心より望みます。

代表の御身と共に秘書大久保氏の御身も 心ある国民は心配し応援しています。
駄文ですが、激励文として

かしこ

六丁目 より

【舞台裏】

.....
はじめまして 六丁目といます。まだセーフですか。
私も書かせてください！

拝啓、小沢一郎様

海亀(2009年4月23日)

わたしは今回のサブプライム危機がどのようにして起こり、どうしてここまで急速に広範囲にわたって悪化したのかが知りたくて、図書館の経済書のコーナーを散策するうちに、これが日米関係、金融界のたくらみや、明治以降の日本の政治・国際関係等と切り離しては考えられないものであることを知りました。

また日本のバブルは意図的に作られ、計画的に破裂させられ、その後の失われた10年はわざと長引かされたものであると信じるに至りました。これにより日本の国民が骨身を削って築いた金融資産は、巧妙に海外に持ち出されました。そうとしか考えられません。

年金の積立金はどこへ行ったのでしょうか。日本の医療を良くするために必要なお金は、麻生首相が海外でばらまく金額の足もとにも及びません。どうしてそれが出せないのでしょうか。少子化や国民年金の未加入のせいだとの責任転嫁は許せません。

これまでわたしは日本の政治には大した期待もなく、2005年の郵政選挙以降ますますその想いをつのらせておりました。

けれど、近頃ネットでいろいろな方のブログやご意見を読むうちに、まだ日本もなんとかなるかもしれないと一筋の希望が出て来ました。

3月3日の大久保秘書の逮捕以後の報道では、日本のマスコミと検察の醜悪な実体が明らかになりました。ここまでひどいとは思いませんでした。

しかし、これにより、マスコミに現れる人々の誰がどちら側にいるのかが一目でわかるようになりました。

また、小沢さんがここまでの総攻撃を受けるからには、よほど小沢さんを恐れる理由があるのだろうと信じられるようになりました。

小沢さんがわたしたちにとっての唯一の希望です。

わたしたちも自分にできることは微力でもやっていきたいと考えています。

日本に本当の民主主義が根付くよう、頑張ってください。

暴風雨のような悪意・偏向に満ちた報道の中で必死に戦っている人々を見ると、胸がしめつけられます。

また、いついつ頃小沢さんが辞められるだろうという本当かどうかわからない情報を見るたびに心が乱れます。

政権を取った後、または取る前の小沢さんの安全も気になります。

このような想いで日々ネットやニュースを見つめており、仕事も上の空になるほどです。

どうか、わたしたちの想いがお守りとなりますように。

心から応援しております。

拝啓、小沢一郎様

Sr.ボスケ(2009年4月23日)

3月3日以来の偏向マスコミによる理不尽な低劣報道にこの国の行く末を案ずると共に、小沢代表の動向に注目しています。

マスコミはほとんど報道していませんが、毎週の記者会見動画を楽しみに拝見、拝聴させていただいています。どんな憎らしい記者からの質問に対しても、どこかのソウリと違って逃げる事無く、誠実に即座に回答されている小沢代表の懐の深さに感涙しています。

この期に及んで代表辞任などもってのほかです。くれぐれも健康に留意され、小沢民主党の「国民の生活が第一」の実現にまい進していただくことを願っています。

拝啓、小沢一郎様

小沢イズム(2009年4月23日)

あなたが、新生党を立ち上げた時から気になっていました。

そして、民主党と自由党の合併の頃から関連の本を読み漁り、生き様に惚れました。

官僚主導の打破、政権交代

国民のレベル以上の政治家は生まれない、選挙が政治家を作る

政治とは生活であるとのあなたの言葉

時代はあなたを求めています。

ブレない信念

このままだと、この国は沈没間近です。心まで病んでいきます。

現役世代、これからの若者を救って下さい。

それが一流の政治家である、あなたの使命です。

私も志を持って、地方ですが行動していきます。

愛と正義のために

艱難辛苦あろうとも、国家の大業を成し遂げて下さい。

拝啓、小沢一郎様

田舎の片隅(2009年4月23日)

いつも記者会見を楽しみに聞いております。

風格があり、重みのある言葉を選んで堂々と話されるお姿は、他の軽い物言いの方とは比べ物になりません。

日本の総理大臣にもっともふさわしい方だと思い、長年応援いたしております。

今回の事件で、説明責任云々とマスコミが騒いでいますが、私は立派に説明されたと思っています。

世論調査は、マスコミによる『世論操作の為』の世論調査だと思っています。

野党はマスコミの取り上げ方も少ししかなく、その為に政策も未だ理解されにくいのだと思います。

是非、近いうちにあろう党首討論で器の違いを見せてください。

自公の3分の2を使うばかりのとんでもない学級会を一刻も早く終りにしてください。

今、小沢代表がいるから民主党に任せてもいいと言う方は、古くからの自民党支持者にも沢山いると思います。

世論操作に負けずに、是非代表で政権交代をお願いします。

この暗い、検察までもがおかしい日本を明るい方に導いてください。

田舎の片隅より応援いたします。

拝啓、小沢一郎様

仙人(2009年4月23日)

検察の不当（少なくとも極めて不適切）な大久保秘書の逮捕。その後のマスコミの一方的な世論誘導。

次の総選挙は民主党が勝つかどうかではなく、民主主義を守れるかどうかの瀬戸際の戦いです。日本が検察・警察国家になってしまわないために、ぜひ代表の座に留まって下さい。

非常に残念なことに、民主党内に「選挙に勝つためには、代表を辞任した方が良い」というような意見の人もいるようですが、彼らは選挙に勝った後いったい何をやろうとしているのでしょうか。

こんな不当な圧力に屈しながら、「国民の生活が第一」の政策が実施できると思っているのでしょうか。

不当なものは不当、戦術は戦略を遂行するためのもの、手段（政権交代）は目的（真の国民主権）ではありません。

企業団体献金の禁止、議員の世襲制限、大賛成です。国民主権を守るための応分のコスト（個人献金）は負担します。

不当な圧力をはねのけて、小沢代表の下での政権交代を強く強く期待しています。

拝啓、小沢一郎様

和(2009年4月23日)

小沢一郎 代表へ

選挙権を得て50年あまり、自民党以外の政党に投票してきました。

自民反対というよりも、より良い社会を求めて漂流していたようにも思えます。
白川さんのブログから「平成海援隊」に至り、日々新た・・・の心境です。

小沢さんの真の姿が見えてきたように感じます。

記者会見での言葉はそのまま立派な文章になります。田中康夫さんがそのような発言をされていましてね。改めて一言ひとことをじっくり聞かせていただきました。

次の選挙は、小沢さんを支える・・・というはっきりした意思を持って民主党に投票します。
税金還付金は民主党に寄付します。

日本再生の為にどうぞお力をかけて下さい。

お体に気をつけて頑張ってください。

お願いいたします。

拝啓・小沢一郎様

[義を貫く](#)(2009年4月23日)

戦国の大将のように、全身に弓矢をうけながら、正義の戦いを続けられる貴兄に心から、敬意を表します。

政権交代目前に仕掛けられた今回の逮捕劇は、現権力が権力を維持するための政治的犯罪行為であることは多くの国民が認めるどころです。

政権交代論はすでに、国民の多数派です。マスコミを使った攻撃は貴兄に集中しています。このことは、貴兄抜き政権交代は考えられないことを証明しています。

政権交代論はすでに国民の大勢だと思います。大手マスコミを使った世論操作に負けることなく、民主主義を守る歴史的な戦いに勝利する為、国民とともに、国民の先頭に立って頑張ってください。

健康に留意されんことを心からお祈り申し上げます。

拝啓 小沢一郎 様

リラ (2009年4月23日)

大久保秘書の逮捕以来どんなにか悔しくお辛い日々を送ってらした事でしょう

当初 胸中をお察しして私も胸が張裂けそうでした

でも大多数の人はちゃんと見抜いていましたよ
何が正しく 誰が正しく そして誰が偽りかを

最後には必ず天が味方してくれるはずです

どうぞ代表を続けて下さい

そしてすべての国民が明日に向かって希望を抱いて
歩んで行けるような日本に是非して下さい

よろしくお願い致します

微力ながらずっと応援しております

リラ

小沢代表への手紙

どなんとう・家人（2009年4月23日）

長年のナゾ……和歌嵐香

小沢一郎さああん！

なぜ私は小沢さんと妙にうまが合うのかな???……と、
かれこれ？年も歳月は流れ流れてきょうの日、お伝えします。

この『ナゾ解きとなった一冊あり！』なのです。

おちまさ様との対談です。

「50の質問」一気によむように、との著者の前書き。

but、ポッチラコとよみ、

ハア～～!! そっかあ 小沢さんはおんなじような感覚の方だったんだあ
というのが読后感想。

意見のちがう点ありですよ小沢さん、

ソレは、うちの愛娘たち（猫）は
ある時はヒモをつけておきますよ。

さらに、ある時は反省かごですごさねばならぬ。

女三命協議会と笑ってるが、

彼女達と私の三命会議は常に日常にあるんです。

そして、人と猫であっても

キチンと守るべき事を達成するまで互いに根気強く、

お互いに我を主張したり～トカ～～なんです。

小沢さん、長年、遠地からみつめてきたまなこ、には
となりにいる、生きてる者への愛情のそそぎ、手のさしのべ、
できる事はやる式で生きてきた私とおんなじだ!!

小沢さん、体大事にしてよ。

勝つためには。

と、ナゾがとけました。

歩けなくっても、歩いて歩いて、走ってよ。

日射に向かって全力疾走あるのみ。

みんなで。

民主党 代表 小沢一郎殿

horikawa hisako (2009年4月23日)

次の選挙は民主党に入れます。

拝啓、小沢一郎様

みむ(2009年4月24日)

敬愛なる小沢代表様

どこかで『小沢代表は時代に選ばれた存在なのだ。』
と書いてあったのを読みました。
小沢様がなさろうとしている事が天が与えた使命なら
誰もそれを止めることが出来ないのではないかと思います。
私なんかは想像も出来ないくらいの過酷な試練に
耐えて下さっていることに感謝しています。
きっと神様が試練に打ち勝つ力を与えてくださると信じています。
非力ですが私も小沢民主党の為に日々祈り行動をしたいと思います。
ご自愛ください。

みむ拝

【舞台裏】

.....

こんばんは。はじめまして。
書き込みに慣れておりませんので不備や失礼がありましたら、
ご指摘お願いいたします。
勇気を振り絞って書きました。稚拙で色々と恥ずかしい文章ですので、
添削して読めるようにしていただけると有難いです。
宜しくお願いいたします。

(もちろん、添削などしていません)

拝啓、小沢一郎様

常なる民(2009年4月24日)

小沢一郎様

小沢一郎氏には以前は、強引さや傲慢にみえる態度に辟易としたこともあります。現在は政治家として円熟の極にあると思っています。

そのような時期に政権交代の先頭にたっているのは天の配剤。どうぞこの好機をのがさず、自公・官僚支配に終止符をうっていただきたい。そう強く念じています。

この数年の日本社会のあまりの劣化ぶりに、50半ばの私も将来に暗澹たる気持ちを抱いてきました。

どうか暗澹たる気持ちを希望へとつなげるよう、道を切り開いていただきました。普通の人の個人の努力ではどうにもならない社会になってしまっています。

ささやかな一個人の願いですが、どうか小沢代表を始めとする民主党のかたがたへとどきますよう。

以下、民主党への期待をこめて

辺野古への米軍基地移転再検討

この一点だけでも私は民主党を支持します

泡瀬干潟埋め立て反対

この一点だけでも私は民主党を支持します

取り調べ可視化法案の提出

この一点だけでも私は民主党を支持します

裁判員制度の見直し

この一点だけでも私は民主党を支持します

開かれた記者会見

この一点だけでも私は民主党を支持します

期待すること。

警察・検察を始めとする官僚制度の改革。

累進課税の復活と消費税から売上税への転換。

家族も本人も平穏な気持ちで人世の終末を迎えられる社会。

頑張れ小沢

由美ちゃん(2009年4月23日)

<http://yumichan293.blog77.fc2.com/>

今回の大久保氏逮捕に強く抗議し、東京地検特捜部と受け付けた裁判所（わからないので、受付窓口）に、抗議メールを出し、朝日の声欄に投書しました。勿論、過激なので載りませんでした。小沢さんのブログへも応援メールしました。

にしても、北野誠さんや、デビ夫人（彼女のブログ超面白い！マスゴミ・児民党と命名がうまいし、文章もキレイ。）の問題といい、不愉快千万！！

26日の名古屋市長選挙が楽しみです。間違いないでしょう。報道を見ても聴衆の集まり方が違います。あの自転車演説彼らしい。

さあ、遊説も再開しました。マスゴミや、岡田の身内を擁護しない『説明責任がある』発言は無視！秘書逮捕を受け、マイクに向かって堂々と発言したあの会見で、ますます好きになりました。献金額の大きさをいうなら、児民党や公迷党への献金額はどう？オバマさんは、インターネット利用し、何十億も集めたけれど、それって違反？

あくまで“公明正大”に、頑張ってください。心から、夫と2人応援します。

拝啓、小沢一郎様

高橋(2009年4月24日)

岩手4区在住の高橋と申します。

先生が自民党を離党されて以来、ずっと応援しております。
何としても、今度の総選挙では悲願の政権交代を実現しなければなりません。そのためには、やはり小沢先生が先頭に立って、皆を引っ張っていく必要があるのです。他の者には任せられません。

どうか、先生の信じる道を堂々と突き進んでください。我々も最後まで諦めずに先生についていきます。真の日本再生のために！

拝啓、小沢一郎様

春樹(2009年4月24日)

私は民主党も自民党と似たり寄ったりと思い、政治に基本的に関心を持ってきませんでした。貴殿についても特に支持する気持ちはありませんでした。むしろ民主党の守旧派と思っていました。

ところは今回の西松問題で大きく心をゆすぶられました。政治資金規正法がざる法であることは知っていましたが、それを「守ったがゆえに」貴殿の筆頭秘書が突然逮捕された、というニュースにまず驚愕しました。やがて、貴殿が現体制派にどれほど恐れられている存在であるか、を知ることによって貴殿を再評価しました。そして次の総選挙の行方にくわくするものを感じました。日本の選挙にこのような感覚を抱いたのは正直のところ初めてです。この気持ちを抑えきれず、民主党のHP 10回以上投書しました。貴殿のHPにも一度メールしました。河村候補の事務所にも行きました。

貴殿が今何を考えているか知りません。代表辞任の時期をうかがっている、という観測記事も書かれています。貴殿にとってはまさに針の筵に座っている辛い毎日かもしれません。しかし、貴殿が辞任したら貴党は求心力を失うでしょう。何よりも、貴殿でなければ政権交代の実を挙げられない、と信ずる多くの人間が貴党への支持をやめるでしょう。その損失と、貴殿が辞任することによって貴党への支持をつなぎとめることの出来るプラス（確かにこの種の人間の数は馬鹿にはならないでしょう）を冷静に比較してください。前者のパワーは次の時代の貴党にとって大きなエネルギーになるはずです。バランス感覚や「世論」への気兼ねから辞任することはおやめくださるようお願いします。政権交代を先頭に立ってやり遂げることは貴殿のこれまでの政治生活への責任であると思いますがいかがでしょう。そして法的にも倫理的にも、辞任の必要性は皆無です。

辛い状況と思いますがそれを耐えることを通してこの間、貴殿は大政治家の風貌風格を備えてこられてきました。もうしばらくの辛抱です。

拝啓、小沢一郎様

カナン(2009年4月24日)

小沢代表、毎日お疲れさまです。

小沢さんが自由党を作られたころだと思いますが、友人と入った喫茶店で隣の席の年配の男性たちの話し声が聞こえてきました。

「やはり、小沢一郎に頑張ってもらわなければ。」

小さな党の党首に期待を寄せている人がいることを知り、私はびっくりしました。しかも、彼らは、右でも左でもなく分別のある大人に見えました。それまで、私は小沢さんのことを知らず、政治にもあまり関心がありませんでした。しかし、その日、確信しました。

「ひょっとすると、これからは小沢さんが政治の中心になるのかもしれない。」

その日から、小沢さんが書かれたものを読み、発言に耳を傾け、私なりに小沢さんを少しずつ理解できるようになりました。選挙では小沢自由党に投票してきました。民主党と合併してからは、「小沢さんのいる民主党」に投票しています（一昨年の参院選は、小沢代表を敬愛する田中康夫氏にも投票しましたが）。

私は洗礼を受けているわけではありませんが、「すべてのことには時がある」で始まる聖書の伝道の書が好きです。

「今こそ政権交代が必要な時」なのだと思います。次期衆院選で、民主党が現与党を数で上回ったとしても、本格的な政権交代にはなりません。大切なのは、選挙後です。国民のための新たな仕組みを作らなければ、本物の政権交代とはいえません。それを実現するには、小沢代表の陣頭指揮が必要です。

次の次の選挙で政権交代を果たせば良い、などとフザケタことを言う民主党議員もいるようですが、彼らには、国民のために政治をする意志を感じられません。彼らは、ただ「議員」というステータスを維持したいだけで、国民に対して責任を負うより、永遠に野党でいる方が気楽というのが本音ではないか、と思わざるをえません。

今、私を含めて多くの国民はヒリヒリするような痛みをこらえて一日一日を生きています。次の次など待つてはいられません。何が何でも、次の選挙で政権交代があることに望みを

つないでいるのです。

小沢代表には、次期衆院選で勝利するだけでなく、来年の参院選にも勝って新政権を安定させていただきますようお願いいたします。お願い事ばかりで申し訳ないのですが、その大仕事をするのが政治家・小沢一郎の天命だと思います。

3月3日までは、投票に行けば国民としての義務を果たしたのだから、後は当選した議員が頑張るべき、と考えていました。しかし、今は、政権交代を望むなら、自分にできることをしなければならぬ、と思うようになりました。

小沢代表、どうぞお身体をご自愛ください。そして、身近にくれぐれもご注意ください。これからも、小沢代表と小沢代表を支持する人を微力ながら応援させていただきます。

カナン

拝啓、小沢一郎様

風林火山(2009年4月24日)

拝啓 小沢一郎 様

私は、普段、全くテレビ、新聞を見ないので、もっぱら情報収集はインターネットに頼っております。

また、政治問題にも詳しくなく、乱文乱筆、お見苦しい点多いかと存じますがお許してください。

ただ、何とかしなくては、何かしなくてはとの思いに駆られ、お手紙をお送りさせていただきました。

前述のように、情報収集はネットに頼っているのですが、例の事件以降、あまりに酷い民主党、小沢党首のネガティブキャンペーンに、一体どうなっているのか？と、テレビ等も見ってみました。

そして、魔女裁判？、赤狩り？のような、不気味な恐怖を覚えました。

しかも、どの局も、どの新聞も言っていることは同じで、まさに”小沢は悪者だ”とのキャッチフレーズで国民を洗脳しようとしているが如くです。

逆に、森田知事、かんぼ問題など、もっと騒がれておかしくしくない事件は、小沢党首関連に比べれば、全くと言って良いほど声が聞こえてきません。

何か、サブリミナルでも入っていそうで、怖くて、もう二度と見たくありません。

また、巨額のばら撒きにしても、職を失い、日々の生活にも困り始めている方々がいるのに、無差別・無意味に税金をばら撒いて、無能としか思えません。国が良くなるとは全く思えません。

最近、交通機関で毎日多数の人身事故が起こっているのは異常ではありませんか？？

小沢様、この国をダメにしている人たちを退場させて下さい。

小沢党首は口下手だ何だと言われていますが、調子のいいことばかり言って、日本をダメにした人の後だからこそ、国民はじっくり小沢さんを見ているのではないのでしょうか。

既に、本質に気付いている国民のクリティカルマスは超えていると思います。

私たちは小沢党首を見ています、そして信じています。

小沢党首での総選挙、そして小沢総理の誕生、心待ちにしています。

どうぞご健康には十分ご留意されて、

この難局を乗り切っていただけることを心よりお祈りしております。

早々

拝啓、小沢一郎様

yamauchi(2009年4月24日)

今、あらゆる面で混迷を深めるばかりの日本に、言いようのない不安と焦燥を覚えております。

その中で、日本を変えようと命がけで頑張っておられる小沢代表をご尊敬申し上げますとともに、感謝の気持ちで一杯であります。

現状は小沢代表にとってしんどい時期ではありますが、何としてでも乗り越えて、日本が本当の民主主義国家に生まれ変われますよう、もう一踏ん張りをお願い申し上げます。

私も微力ではありますが精一杯応援をさせていただきます。

最後に、お体にはくれぐれもご留意なされますように。

平成 21 年 4 月 24 日

山内 拝

拝啓、小沢一郎様

[鳥丸](#)(2009年4月24日)

小沢一郎様

アメリカがこけて世界経済の仕組みが変わろうとする中で、日本は変革を迫られています。

そんな状況にもかかわらず、変わることを恐れ、ひたすら強者に媚びて庶民を虐げ、国富の切り売りをし続ける自公政権にはもう辟易です。

ぜひとも小沢代表の下で政権交代を実現し、将来に不安を抱くことなく、安心して子供を生んで未来を託せる国づくりを実現させて下さい。

検察の横暴によって、小沢代表にとって逆風が吹き荒れましたが、義が小沢代表にあることを多くの良識ある国民は見抜いております。

迷わず信念を貫いて突き進んでください。

拝啓、小沢一郎様

eiko.hasebe(2009年4月24日)

”秘書逮捕”とニュースが流れた時、心臓が止まるほどの衝撃を受けました。そして絶望しました。

この15年間小沢さんの行動を発言を目で追って来ました。

これで終わるのかと胸かきむしられる思いでした。

でもネットの中に、同じ思いで陰ながら応援している人が多数いたのです。

今までの小沢さんの政治生活を認め、期待し、希望をつないできた、これほどの国民がいるという事を知っていて下さい。

私たちはサイレントマジョリティでしたが、今やサイレントではいけないと、行動しなくては、と思いだしているのです。

権力に擦り寄る人間のかたまりと、私たち普通の生活者の応援との戦いです。

小沢さんを希望をもって見つめている大きな塊が存在していることを知っていて下さい。

小沢さん、頑張って***

[あおい](#)(2009年4月24日)

近頃TVニュースや新聞にうんざりしていたところ、ビックリ!

剛が、公然わいせつ罪で逮捕。

深夜に一人裸で公園にいて、大声を出したからだそうで・・・

ハッキリ言って笑っちゃいました。

痴漢か強姦でもしたかの様な扱いで、しかもトップニュース。

それも時間を割いて、この業界、凄一く変!!

かんぼのしり切れ鳩おっちゃんは「それが事実なら断じて許し難い行為」だと。

おっちゃんの素行はどんなもんだか。

我が家の兄ちゃんは「外は気持ちいい」と言って

深夜、田んぼでおしっこする事もあります。これも断じて許し難い行為ってか?

♪小沢さん、検察やメディアの偏向報道には屈しないで頑張ってください。

先日、福岡に来られた時の様子を拝見しましたが、

お顔が痩せられたかな〜と思い心配もしました・・・が、

正直シャープでマジ素敵でした(不謹慎ですね)

記者の質問といったら毎度の①説明責任と②進退問題。

アタマ悪いんじゃないの?

小沢さん何度でも“答えてる”つーの。

政治記者も芸能記者と変わらない・・・レベル低うー。

※今回の小沢さんの件で検察はどのような事でも出来ると云う

恐怖の実体を私は知りました。

以前は正義を行っているとばかり思っていました・・・

※このような利己主義の官僚支配の政治を国民の生活が第一の政治に変えて下さい。

この**国民の生活が第一**には「全てが含まれている」

そんな豊かで温か〜な響きを感じ取る事ができるメッセージです。

♪♪弱者の私達を救い出して下さる小沢民主党を全力で応援します♪♪

拝啓、小沢一郎様

お気をつけて下さい(2009年4月24日)

小沢一郎代表へ

名古屋で勝利して、次は政権奪取だ。後一踏ん張り。

がんばれ小沢一郎！！

拝啓、小沢一郎様

[hightree](#)(2009/04/24 11:27:37)

<http://hightree.iza.ne.jp/blog/>

拝啓

小沢 一郎 様

前戦にたって、元気に闘う姿を見て、応援しております。

政権交代で、国民生活第一の政治、社会の実現に期待しております。

総選挙で勝利し、日本の仕組みを変えるまで、代表として、活動されることを願ってます。

あともう少しと思います。

敬具

拝啓、小沢一郎様

善人なおもて(2009年4月24日)

拝啓、小沢一郎様

善人なおもてと申します。

今回の検察を使った不法国策捜査に激しい憤りを覚えております。
この事が許されるなら、もはや自由にももの言えなくなりますし、民主的な決定を行うことすらほぼ不可能になります。

代表におかれましては、大変な精神的苦痛および肉体的苦痛をお抱えのことと思いますが、ここは是非「民主主義・自由を守る」大事な戦いの天王山として位置づけて頂き、今一度頑張ってくださいたく書き込みいたしました。

小沢代表の生き方を目の当たりにしまして、「人間の生」とは、また「どのように生きれば良いのか」とか人生についても色々と考えさせられます。

陰ながら私もできる範囲で頑張りますので、是非代表として責務の遂行をよろしく願います。

平成21年4月24日

拝啓、小沢一郎様

有限国民(2009年4月24日)

私は小沢氏に民主党党首を続投していただきたく、衆議院選挙で勝利してほしいと切望しております。

その主な理由は

- ① 60年つづいた一党独裁を破壊し、既得権益集団により搾取されている 地道に働いている人々の暮らしを取り戻して欲しい。
- ② 今回の不当逮捕は単に小沢氏への検察権力の濫用ではなく広く国民全体への検察による人権侵害である。このことは本来国会全体が検察と戦うべきものである

お体に気をつけてぜひ衆議院選挙での勝利をねがっております。

敬具

小沢代表 応援メール

花鳥邦子（2009年4月24日）

拝啓 小沢一郎様

春たけなわですが、毎日の激務と気苦労お察し申し上げます。

3月3日の大久保秘書逮捕以来小沢代表追い落としのためマスゴミ総動員してのバッシングの嵐。

昨日のSMAP、草なぎさんの逮捕はテレビカメラで移送される場所を写しNHKも7時のニュースではトップで扱う始末。

微罪を事のほか大きく扱い、大切な事件は報道しない。マスゴミの有り様は怒りを覚えます。恐ろしいです。

二大政党を目指し自民党離党以来ずっと応援してきました。これからも変わりません。

代表続投は当然です。色んなブログ見ると小沢シンパが相当増えたようです。うれしい限りです。

どうか健康だけは留意されますように祈っております。

敬具

いっちゃん応援隊 (隊員4名)

拝啓 小沢一郎様

私は民主党支持です。(2009年4月24日)

以前より実名にて何度も、この大難の時代を郷土の人々が切り抜ける必要な展望を提言いたしました者、であります。

自分は今回の権力側の悪あがき、それによって金よりも貴重な、この問題解決に対処する為の端緒の半年間が、空費されている現実にやりきれない焦燥を覚えます。

本来、今頃は志しある国々が協同し、この大難に対峙するために話し合いの場を持って議論を深めていなければいけない時期なのに、現在の政権はただ無駄に金をばら撒いているようにしか自分には見えません。

保守は、その時期が訪れれば立派に一国の方針として成り立つ主義主張ですが、今はその時期ではありません。世界の同じ志しをもつ国が話し合うつまり、日本も自身の構造を変える施策を初めていかなければ、いくつもの国を内包する、新しい世界の「価値」を生み出す事はできません。

人々も変化を求めています。この困難を皆で乗り切って、新しい価値を実現するための危険で困難なこの舵取りを、ぜひ、まずはお願いいたします。

指導者として、今この位置に立っておられるのは文字どおりの天命でしょう。

しかしこの国の、郷土に生きる沢山の人々の命と生活は、代表がその政治的理念をまっとうされたその先にこそ、はじめて続けております。

そして国民は家族です。ゆえに自分もまた、当事者として微力ながら力を尽くします。

敬具

拝啓、小沢一郎様・・・・”愛”と”品格”ある『小沢維新』を、熱望します！

[小沢一郎・勝手連](#)(2009年4月24日)

拝 啓 小沢 一郎 様

菅・民主党と合流して後、貴殿が「民主党代表」になってから小生は『小沢・民主党』のみ民主党を積極的に応援する、と周囲に宣言してきました。

従って、それ以来の『小沢一郎・掲示板』の投稿者でもあり、貴事務所よりお送りいただいた大・小の「貴殿の気品あり笑顔の顔」ポスターは我が小事務所の目だった壁に貼ってあり、出入りする方達への無言の政治的発信を今でもしてきています。

『逝きし世の面影』という素晴らしい本があります。

過ってこの東京（江戸）や日本を140年前に訪れた欧米外交官、知識人や旅行者達は、土人のような身なりの貧しいながらも、親切で礼儀正しく、朗らかで活力あり、教育水準や政治意識も今より高い、欧米人が”絶賛”した庶民・農民・武士たち＝我々祖先を目撃し、記録したのです、水墨画のような和やかな風景と一緒に・・・。

貴殿が「明治以来の、中央集権化した官僚体制を、徹底した地方分権国家に再生させる」という大きな構想は、「地域が支え合い、生き生きとした活力のある共同体社会への再生」でもあり、『政権交代』によって是非とも『小沢維新』（日本一新）を実現してください。今や疲弊・閉塞したこの国の、絶望の淵にいる若者や高齢者それに仕事を失った非正規労働者たちに”希望”を与えられる、政治的最後のチャンスに、敵の攻撃にひるむことなく、毅然と立ち向かってください。

我々インターネットの小沢応援団は、必ずや小沢代表の手による「民主党中核の連立政権」を実現すべく、ネットワークの力を結集して《勝利の日まで、たゆまずに》応援し続けるでしょう。

敬 白

「小沢一郎・勝手連」より

国民の生活が第一。



新しい生活をつくる。



民主党

www.dpj.or.jp

© 2009 DPJ. All rights reserved.